

社団法人 日本電子顕微鏡学会

■2000年7月31日発行

■〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
(財)日本学会事務センター内

■TEL: 03-5814-5801 ■FAX: 03-5814-5820

■E-mail: jsem@bcasj.or.jp

■URL: <http://www.bcasj.or.jp/jsem/>

◇第57回学術講演会について

標記講演会が下記要領にて開催されます。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。また、現在、当講演会で開催するシンポジウム企画を募集しております。

なお、募集要項等詳細は11月末発行予定の電子顕微鏡35巻3号に綴込・掲載の予定です。

会 期：2001年5月10日(木)～5月12日(土)

会 場：アクロス福岡(福岡市中央区天神)

実行委員長：柴田洋三郎(九州大学大学院医学研究院)

問い合わせ先：

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学大学院医学研究院形態機能形成学 中村桂一郎

TEL: 092-642-6051 FAX: 092-642-6202

E-mail: jsem@med.kyushu-u.ac.jp

◇次期(平成13・14年度)役員候補者公募

本学会正会員は役員選出内規により正会員を次期役員候補者(理事または監事)として推薦することができます。推薦締切は平成12年10月末日(必着)です。

なお、推薦は正会員2名以上によることとなっております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

◇第46回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の募集

第46回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の推薦を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦締切は本年8月末日です。

◇第16回論文賞候補論文の募集

第16回論文賞授賞候補論文の推薦を公募します。推薦方法は過去2年間の学会誌(「電子顕微鏡」33・34巻、「JEM」47・48巻)に掲載された論文が対象となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年8月末日です。

◇第6回技術功労賞候補者の募集

故神谷芳弘先生からの寄付をもとに平成8年度から電子顕微鏡応用技術の進歩発展に関し、優れた功労のある方に技術功労賞を授与しています。本賞受賞候補者の推薦を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年8月末日です。

◇第2回奨励賞候補者の募集

故深井孝之助先生からの寄付をもとに電子顕微鏡学および顕微鏡法研究にかかわる若手研究者奨励のため、平成12年度から奨励賞を設置しました。本賞受賞候補者の推薦を公募します。受賞対象者は推薦募集締切日(推薦締切：本年8月末日)において満40歳未満となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。

◇研究部会・分科会申請の案内

平成13年度研究部会・分科会申請希望者は学会事務局へ書面にて9月末日までにご連絡下さい。

◇委員の委嘱

「平成12・13年度和文誌編集委員」

黒岩常祥, 菅沼龍夫

「第11・12回電子顕微鏡大学企画委員長」

飯島澄男

◇平成12年度支部長

北海道支部：井上芳郎, 関東支部：澤田 元

関西支部：弘津禎彦, 九州支部：永山在明

◇第9・10回電子顕微鏡大学講義テキスト・第56回学術講演会発表要旨集の頒布

先般開催されました第9・10回電子顕微鏡大学テキスト(5,000円)・第56回学術講演会発表要旨集(3,500円)の頒布ご希望の方は下記へご連絡下さい。

申込先：〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
(財)日本学会事務センター事業部
TEL: 03-5814-5811 FAX: 03-5814-5822
E-mail: sub@bcasj.or.jp

◇関係学協会の案内

- 1) 第40回真空夏季大学
期 日：2000年8月23日(水)～26日(土)
会 場：ホテル富士見ハイツ(静岡県伊豆長岡町)
問い合わせ先：日本真空協会
TEL: 03-3431-4395
- 2) 第41回真空に関する連合講演会
期 日：2000年10月25日(水)～27日(金)
会 場：千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)
問い合わせ先：日本真空協会関西支部
TEL: 0725-51-2526
- 3) 第9回日本バイオイメージング学会学術集会
期 日：2000年11月9日(木)～10日(金)
会 場：昭和大学上條講堂他(東京都品川区)
問い合わせ先：国立医薬品食品衛生研究所 川西 徹
TEL: 03-3700-9084
- 4) VACUUM 2000-真空展
期 日：2000年9月12日(火)～14日(木)
会 場：東京ビックサイト(東京都江東区有明)
問い合わせ先：(株)シー・エヌ・ティ
TEL: 03-5297-8855
- 5) 第20回日本表面科学講演大会
期 日：2000年11月29日(水)～12月1日(金)
会 場：早稲田大学総合学術情報センター(東京都新宿区)
問い合わせ先：日本表面科学会
TEL: 03-3812-0266
- 6) 6th International Workshop on BEAM INJECTION
ASSESSMENT OF MICROSTRUCTURES IN SEMI-
CONDUCTORS (BIAMS2000)
第6回ビームを用いた半導体中の微細構造の評価に関する国際集会
期 日：2000年11月12日(日)～16日(木)
会 場：ホテル海ノ中道(福岡市東区西戸崎)
ホームページ：<http://guppy.tl.fukuoka-u.ac.jp/~biams>
問い合わせ先：友景 肇(福岡大学工学部電子情報工学科)
TEL: 092-871-6631 ex. 6390
E-mail: biams@fukuoka-u.ac.jp
関口隆史(金属材料技術研究所物性解析研究部)
TEL: 0298-59-2750
E-mail: sekiguch@nrim.go.jp

◇研究奨励金公募のご案内

本年度も風戸研究奨励会より下記のように奨励金公募の通

知がきております。交付ご希望の方は同財団宛に申し込み用紙をご請求下さい。

平成12年度風戸研究奨励金

- I. 風戸研究奨励金(研究助成費)総額4,000,000円
 - ・応募資格：原則として満40歳以下の研究者
 - ・交付金額および件数：選考委員会の選考結果による(1件100万円以内で約4名に贈呈予定)
 - ・応募締切：2000年12月末日(当日消印有効)
 - ・選考結果：2001年2月中旬に各応募者に連絡予定(奨励金の送付は2001年3月上旬予定)
 - ・申込用紙：風戸研究奨励金申込書を下記連絡先へ請求
- II. 必要書類(書留にて送付のこと)

①風戸研究奨励金申込書

②最近の主な論文3編の別刷各9部、但し、うち8部はコピーで可(写真はオリジナルと同等のものを提出)

③推薦状1通 ④履歴書1通 ⑤業績リスト1通

III. 本奨励金による研究発表論文中には ACKNOWLEDGEMENT を明記のこと。

連絡先：〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2

日本電子株式会社内 (財)風戸研究奨励会
事務局 高橋正行

TEL: 0425-42-2106 FAX: 0425-46-3353

◇平成12年度評議員

先に行われました選挙の結果、以下の会員が評議員に選出されました。なお、先に送付した評議員候補者名簿に誤りがありました。「中西 節」とあったのは「中西テツ」の誤りです。お詫び申し上げます。

《北海道支部》

脇田 稔, 藤川清三, 阿部和厚, 大貫惣明, 工藤隆一,
高橋平七郎, 武沢和義, 武田正子, 竹花一成, 辰巳治之,
橋本善春, 森 道夫, 亘理文夫

《関東支部》

相磯貞和, 相原 薫, 朝倉健太郎, 安達公一, 飯島澄男,
五十嵐芳夫, 石川 晃, 石塚和夫, 石原信一, 伊藤邦夫,
井野正三, 井上金治, 今市涼子, 岩槻正志, 上田 修,
江尻貞一, 及川哲夫, 大坂敏明, 大島義文, 大隅正子,
大塚和弘, 大野伸一, 岡山重夫, 小倉一道, 長船哲齊,
長村義之, 小澤英浩, 小野昭成, 柿林博司, 加藤 勝,
片山栄作, 川上速人, 川生 明, 岸田晴雄, 倉田博基,
黒岩常祥, 小池紘民, 甲本忠史, 神山宣彦, 近藤俊三,
近藤尚武, 近藤行人, 坂井建雄, 酒井俊男, 佐々木克典,
佐々木崇寿, 佐藤 馨, 佐藤眞美子, 澤田 元, 嶋田 裕,
代田暁平, 進藤大輔, 杉山昌章, 鈴木季直, 鈴木二美枝,
関口隆史, 副島啓義, 高田邦昭, 高橋一郎, 高野吉郎,
高柳邦夫, 龍岡穂積, 田中通義, 谷城康眞, 千葉胤道,
寺崎 治, 外崎 昭, 外村 彰, 中井康光, 永田哲士,
永田文男, 永谷 隆, 永野俊雄, 中村泰尚, 名倉 宏,

秦 順一, 馬場則男, 原田嘉晏, 板東義雄, 平賀賢二, 平坂雅男, 平野 寛, 廣川信隆, 廣澤一成, 広瀬治子, 広畑泰久, 福島球琳男, 藤井智之, 藤田恒夫, 藤本正之, 二重作豊, 古屋一夫, 堀内繁雄, 本田敏和, 松井良夫, 松畑洋文, 村上 悟, 八木克道, 矢崎和盛, 八瀬清志, 安田寛基, 山口正視, 山科正平, 山本直紀, 横田貞記, 依藤 宏, 若林健之, 和氣健二郎, 渡辺 徹, 渡辺 皓
《関西支部》

有井達夫, 石井裕子, 石村和敬, 飯野晃啓, 生田 孝, 井関尚一, 磯田正二, 井出千束, 伊藤 孝, 伊東隆夫, 井上貴典, 井端泰彦, 乾 晴行, 上田裕清, 白倉治郎, 内山安男, 遠藤久満, 大谷 修, 大下昭憲, 大槻勝紀, 小澤一史, 大嶋隆一郎, 片岡勝子, 角田直人, 覚道健一, 北野保行, 楠見明弘, 熊尾章宏, 黒田光太郎, 小林隆史, 後藤俊幸, 後藤隆洋, 佐々木文彦, 佐々木順造, 志水隆一, 下村義治, 下山 宏, 芝原寛泰, 瀬口春道, 杉山淳司, 助台栄一, 千田隆夫, 高井義造, 鷹岡昭夫, 高屋憲一, 竹田精治, 田中信夫, 丹司敬義, 永山国昭, 仲井清真, 中西テツ, 西野武志, 波多江種宣, 平井圭一, 平山 司, 弘津禎彦, 藤田 稔, 藤本 和, 藤本豊土, 松浦忠夫, 松本 明, 溝口 明, 村上宅郎, 森博太郎, 森 優治, 森岡宏行, 藪内康文, 渡部 剛, 渡辺 淳

《九州支部》

雨宮次生, 飯島忠彦, 猪口哲夫, 太田道雄, 加藤征治, 木下智見, 桑野範之, 柴田洋三郎, 島田達生, 菅沼龍夫, 高野邦雄, 津山新一郎, 年森清隆, 友清芳二, 中村桂一郎, 永山在明, 西田 稔, 羽坂雅之, 藤田 守, 藤本 淳, 堀田善治, 松村 晶, 真鍋武志, 三好萬佐行, 安澄文興, 山元寅男, 吉塚光明

《理事会》

塩尻 詢, 日比野倫夫, 保坂康弘

◇学術運営委員会, 分科会および研究部会関連内規

平成11年度第5回理事会において「学術運営委員会および研究部会関連内規」について審議が行われ, 以下のとおり変更となりました。

学術運営委員会, 分科会および研究部会関連内規

(平成12年5月16日理事会決定)

[学術運営委員会の設置]

第1条 理事会に学術運営委員会を設置する。

[学術運営委員会の構成]

第2条 学術運営委員会は, 会長, 副会長, 常務理事, JEM 編集委員長, 和文誌編集委員長, 学術講演会実行委員長, シンポジウム実行委員長, 生物系および非生物系の理事若干名, 会長の指名する会員若干名で構成し, 委員長は副会長があたる。

1. 必要に応じて, 会員を参加させることができる。

[学術運営委員会の任務]

第3条 学術運営委員会は, 学会の学術活動全般を掌握し, 長期的展望のもとに学会の事業全般にわたってその進むべき方向を明示する上で, 学術面においてその中心的な役割を果たすことを任務とする。学術運営委員会は, 顕微鏡科学ならびに関連する学術分野の継続的かつ新たな発展と振興を図ることによって, 学会の活性化ならびに発展を促進するために, 下記の企画・提案・検討を行なう。

1. 学術講演会やシンポジウムのあり方, 分科会や研究部会のあり方に対する明確な方向付け。具体的には, 例えば, 宿題シンポジウム, 連合シンポジウムなどの企画の提案。
2. さらには,
 - ①会員, 会員外を対象としたゼミナール・講習会・見学会の開催の検討や提案,
 - ②啓蒙的・教育的見地からの学術活動の企画, 印刷物などの出版の企画・発行,
 - ③その他, 学会の発展に必要な企画および境界領域の研究促進, などの検討。
3. 分科会, 研究部会の統括
 - ①分科会, 研究部会の新設・廃止・合併・継続, 責任者の承認に関しては, 学術運営委員会の審議に基づき, 理事会がこれを承認する。
 - ②その他, 分科会, 研究部会に関する重要事項の企画と検討。

[学術運営委員会の財政]

第4条 学術運営委員会の活動資金は独立採算とし, 学術振興金をもって充てる。

1. 企業からの寄附金は学術振興積立金に繰り入れる。
2. 一般会計からの学術振興積立金への繰り入れは, 理事会の承認を必要とする。

[分科会の設置]

第5条 学術運営委員会のもとに, 複数の分科会を設置する。

[分科会の任務]

第6条 分科会は, 顕微鏡科学ならびに関連する学術分野における研究テーマのうち, 継続的・普遍的・基盤的研究テーマに取り組む。

1. 電子顕微鏡や関連顕微鏡および関連機器の開発的研究ならびに装置や試料作製法に関連した新技法の開発的研究を行なう。
2. 上記1.の医学生物科学・物質科学分野への新しい応用を目指し, 当該分野における新しい学問領域と技術体系を格段に発展させる。
3. 上記の活動を通じて, 研究成果を広く会員に還元すると共に会員の拡大に努め, 学会の活性化を図る。

[分科会の設立と構成]

第7条 学会が取り扱う研究分野をすべて網羅した形でい

つかに分割し、各分野ごとに必要に応じて分科会を設立する。分科会の設立の仕方については、附則において別に定める。

1. 分科会は、提出された申請書により運営委員会の審議に基づき、理事会がその設立を承認する。
2. 分科会の継続期間に対する制限はつけないが、5年ごとに見直しを行なうこととする。ただし、申請・許可は1年ごとに行なう。
3. 設立を承認された分科会は、幹事を若干名置き、責任者を互選する。
4. 責任者の任期は2年とするが、再任は妨げない。ただし、5年を越えて引き続き責任者の任を継続することはできない。
5. 幹事ならびに責任者は原則として学会員に限る。

[研究部会の設置]

第8条 学術運営委員会のもとに、複数の研究部会を設置する。

[研究部会の任務]

第9条 研究部会は、顕微鏡科学ならびに関連する学術分野における研究テーマのうち、トピックス的・ad hoc的研究テーマに取り組む。

1. 顕微鏡科学およびその関連分野の新たな発展に対処し、その振興を図る。
2. 上記1.の医学生物科学・物質科学分野への新しい適用を目指し、当該分野における新しい学問分野と技術体系を格段に発展させる。
3. 上記の活動を通じて、研究成果を広く会員に還元すると共に会員の拡大に努め、学会の活性化を図る。

[研究部会の設立と構成]

第10条 研究部会は、あらかじめ学術運営委員会が採択件数を決めた上で、毎年公募する。

1. 研究部会は、提出された申請書により学術運営委員会の審議に基づき、理事会がその設立を承認する。
2. 研究部会の期間は1年とするが、継続も認める。ただし、原則として3年継続を限度とする。
3. 設立を承認された研究部会は、幹事を若干名置き、責任者を互選する。
4. 幹事ならびに責任者は原則として学会員に限る。

[分科会、研究部会への参加]

第11条 一般会員の参加、成果利用を容易にするため、年度始めに各分科会、各研究部会は年間計画を会報、ホームページなどにより広く会員に広報する。

1. 開催プログラムや活動内容、活動計画などは、随時、会報、ホームページ、その他の手段により広く会員に広報する。

[分科会、研究部会の成果]

第12条 各分科会、各研究部会で得られた研究成果は、学術講演会やシンポジウム、その他の学会諸行事の中で広く

会員に公表すると共に、可能な限りJEM誌、和文誌に投稿・寄稿してその成果を広く会員に還元する。

[活動報告書の提出]

第13条 各分科会、各研究部会は、年度終了時に、定められた内容と様式に従って、1年間の活動状況を学術運営委員会に報告する。

1. 分科会、研究部会が継続の場合には、この報告書の提出を承認の要件とする。

[分科会、研究部会の財源]

第14条 分科会、研究部会の活動資金は、学術振興金以外は参加者が負担する。

[学術運営委員会・分科会・研究部会責任者合同会議]

第15条 各分科会責任者ならびに各研究部会責任者相互間と学術運営委員会との連絡のため、合同会議を適宜開催する。

[附 則]

1. 分科会の設立の仕方について

(1) 以下の三つの方法が考えられる。

- ①理事会（学術運営委員会）が各分科会の世話人（責任者）を指名する（公募制をとらない）。
- ②理事会（学術運営委員会）が決めたテーマ（研究分野）に対して募集をする。
- ③上記①、②とは関係なく公募する。

理事会（学術運営委員会）は、上記のうち、どの方法を採用するか（①のみか、①と②の併用か、あるいは①と②と③の併用かなど）をあらかじめ決めた上で指名、または募集をする。

(2) この分科会組織を利用して、政府からの大型の研究プロジェクトを獲得できるように、学会（理事会）として努力することが望ましい。その実行の中核となる組織として学術運営委員会を位置付ける必要がある。

2. 分科会、研究部会の設立・継続の申請書ならびに年間活動報告書の様式と内容については、別に定める。特に、年間活動報告に当たっては自己点検評価および学術運営委員会による点検評価を実施する。

3. この内規は、平成13年4月1日から施行する。

4. 「学術運営委員会および研究部会関連内規」は、本改訂案施行後、廃止する。

◇各賞選考内規改正について

平成11年度第5回理事会において各賞の選考内規が以下のとおり、改正されました（改正箇所抜粋：平成11年度第5回理事会議事要旨参照）。

「学会賞（瀬藤賞）選考内規」

第2条 (2) 委員の任期は1年とする。留任は認めない。任期満了後でも後任が決まるまでその職務を行う

第3条 委員長は前任委員会より付託された被推薦者について、毎年1月の理事会までに選考のための委員会を開催す

る。

第4条 (1) 委員会は、被推薦者にその略歴、業績等の資料の提出を9月末日までに求める。

第5条 次期の選考委員会に付託すべき受賞候補者の推薦は7月末日までに、所定の用紙に業績題目、推薦理由等を記載して行うものとする。推薦は下記の方法による。

第6条 委員長は推薦のための委員会を開催し、その結果を8月末日までに会長に報告する。

「論文賞選考内規」

第2条 (2) 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、任期満了後でも後任が決まるまでその職務を行う

第3条 委員長は前任委員会より付託された被推薦者について、毎年1月の理事会までに選考のための委員会を開催する。

第5条 (3) 推薦の締切は7月末日とする。

第6条 委員長は次期の選考委員会に付託すべき授賞候補論文推薦のための委員会を開催し、その結果を8月末日までに会長に報告する。その際、選考委員会は追加推薦することができる。

「技術功労賞選考内規」

第2条 (2) 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、任期満了後でも後任が決まるまでその職務を行う

第3条 委員長は毎年1月の理事会までに選考のための委員会を開催する。

第5条 (3) 推薦の締切は7月末日までとする。

「奨励賞選考内規」

第2条 (2) 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、任期満了後でも後任が決まるまでその職務を行う。

第3条 委員長は毎年1月の理事会までに選考のための委員会を開催する。

第5条 (3) 推薦の締切は7月末日までとする。

◇平成11年度第3回理事会議事要旨

日時：平成12年1月22日(土) 14:00~17:00

会場：学士会館

出席者：(理事) 平野 寛、石川春律、八瀬清志、下山宏、西山彌生、井上芳郎、藤本豊土、内山安男、黒田光太郎、藤吉好則、井出千束、市野瀬英喜、畑 俊夫、(監事) 永田文男、坂 公恭

オブザーバー：坂井建雄(第44回シンポジウム実行委員長)、板東義雄(第56回学術講演会実行委員長)

委任状出席：村田長芳(理事)

【報告事項】

1. 庶務報告
2. 会計報告

3. 欧文誌編集委員会報告：市野瀬編集担当理事より欧文誌に関し、以下の4点について説明・報告が行われた。「①編集進捗状況、②内藤記念財団へ刊行助成金申請を行い、平成12年度より3年間の補助が決定した、③平成12年度科研費申請を行った、④電子化の検討を行っている」

4. 和文誌編集委員会報告

5. 日本臨床電子顕微鏡学会報告

6. 第56回学術講演会進捗状況報告：板東実行委員長より標記講演会の進捗状況等が報告された。また、予算案が提示され、承認された。

7. 第10回電子顕微鏡大学進捗状況報告

8. 第45回シンポジウム進捗状況報告：11月21・22日に岡崎コンファレンスセンター他で開催される標記シンポジウム進捗状況について報告があった。なお、これまでのシンポジウムとの変更点等が以下のとおり補足説明された。また、予算案が提案され、一部修正の後、承認された。

- 1) 基本的に参加者全員が宿泊とする。
- 2) 学問的に高いレベルの魅力ある研究者に講演を依頼する。
- 3) 若い研究者が直接参加する機会を与える。
- 4) 講演を聞くだけのシンポジウムとしないで、ひざをつきあわせて議論できる場とする。
- 5) ネクタイ不要の形式張らない学問的な討論の場とする。

9. 第57回学術講演会の件：理事会から九州支部へ依頼した標記講演会開催について以下要領にて受諾する旨の返答が報告された。これに基づき、柴田会員へ委嘱状を発行することとした。

実行委員長：柴田洋三郎

平成13年5月10日~12日(アクロス福岡)

10. APEMに関する報告：本年に開催されるAPEMアブストラクト締切日が2000年1月31日まで伸びた旨、報告があった。

【議 題】

1. 平成12年度役員候補者選出の件：支部・和欧文誌編集委員会から推薦のあった平成12年度理事・監事候補者について資料に基づき説明があり、次の通り内定した。なお、和文誌編集委員会から推薦された弘津会員については内規の定めた委員任期6年を超えるが、50周年記念特集号の編集継続性から委員再任を特例として認めることとした。また、欧文誌編集委員長から平成13年度以降についても同委員会より理事候補者が選出されるよう検討してもらいたい旨の手紙が紹介された。

理 事：飯島澄男、古屋一夫、長船哲齊、森 博太郎、

臼倉治朗、田中信夫、弘津禎彦、市野瀬英喜

監 事：高田邦昭

2. 平成12年度評議員候補者選出・選挙(選挙管理委員選出含)の件：

- 1) 各支部から推薦された平成12年度評議員候補者について、審議の後、以下の条件のもと、承認することとした。
 - ①留任役員・再任役員候補者については評議員候補者から削除し、その旨を注記する。
 - ②平成12年度役員候補者については評議員候補者とする。
 - ③平成12年度総会で退任する役員については備考でその旨を記し、評議員候補者とする。
 - ④顧問であっても評議員候補者とする。
 - 2) 以下の会長経験者を理事会推薦にて評議員候補者とする。：保坂康弘、塩尻 詢、日比野倫夫
 - 3) 選挙管理委員の選出について：西山理事を選挙管理委員長に委嘱することとした（任期は1年）。委員会の構成（他の4名）については生物系・非生物系のバランスを考え、評議員候補者以外の会員から選ぶこととした。人選は委員長一任とした。
3. 第43回シンポジウム決算の件：坂井実行委員長より標記に関する説明があり、承認された。また、日本臨床電子顕微鏡学会との同時開催で行ったことによる以下の問題点等が説明された。
- 1) 両会の合同シンポジウムを行い、その後に学会賞受賞講演を設定した。
 - 2) どちらかの参加費を支払えば両学会の大会に参加できるようにした。
 - 3) 2会場としたために会場費がかかった。
 - 4) 両学会の合同シンポジウムを行いながら、材料系では別のシンポジウムを組まねばならないなど医生物以外の部門で問題点があった。
4. 第45回学会賞（瀬藤賞）選考委員会委員選出の件：第45回学会賞（瀬藤賞）受賞候補者について説明があった（顕微鏡基礎部門7件、応用研究生物部門3件、応用研究非生物部門2件）。本賞選考委員について協議の結果、以下の会員を委嘱することとした（*は主査）。
- 委員長：日比野倫夫
 応用研究生物部門：高田邦昭*、保坂康弘、永山在明
 応用研究非生物部門：高柳邦夫*、木下智見、高橋平七郎
5. 第15回論文賞選考委員会委員選出の件：第15回論文賞授賞候補論文について説明があった（顕微鏡基礎部門2件、応用研究生物部門4件、応用研究非生物部門3件）。本賞選考委員について協議の結果、以下の会員を委嘱することとした（*は主査）。
- 委員長：平賀賢二
 応用研究生物部門：黒岩常祥*、井上貴央、高野吉郎
 応用研究非生物部門：平賀賢二*、小林隆史、八木克道
6. 第5回技術功労賞選考委員会委員選出の件：第5回技術功労賞受賞候補者について説明があった（物質系応用研究部門2件）。本賞選考委員について協議の結果、以下の会員

を委嘱することとした（*は主査）。

委員長：堀内繁雄

物質系応用研究部門：堀内繁雄*、進藤大輔、田中信夫

7. 第1回奨励賞選考委員会委員選出の件：第1回奨励賞受賞候補者について説明があった（物質系応用研究部門1件）本賞選考委員について協議の結果、以下の会員を委嘱することとした（*は主査）。

委員長：友清芳二

物質系応用研究部門：友清芳二*、亙理文夫、松井良夫

8. 学術運営委員会・研究部会関連内規改正の件：学術運営委員会・研究部会の位置付け、および学術運営委員会・研究部会関連内規改正私案の骨子が説明された。協議の結果、次回理事会において更に検討していくこととした。

9. 平成12年度研究部会の件（学術運営委員会報告含）：学術運営委員会（常務理事会）での審議経過の説明があり、以下の研究部会の設立が承認された（（ ）内は責任者）。

《トピックス的》

- ・生物試料解析のための走査型プローブ顕微鏡法研究部会（伊藤悦朗）
- ・電子顕微鏡による照射効果研究部会（保田英洋）
- ・ナノ構造形成の安定性と時間分解画像解析研究部会（一宮彪彦）

《継続的》

- ・新しい顕微鏡法を中心とした病態解析研究部会（長村義之）
- ・カソードルミネッセンス研究部会（一色俊之）
- ・高性能電子顕微鏡技術研究部会（高井義造）
- ・高分子材料研究部会（甲本忠史）
- ・生物・医学マイクロビームアナリシスの広い応用性を持つ研究方法開発研究部会（高屋憲一）
- ・SEM 応用技術研究部会（小野昭成）
- ・先端プロセス評価研究部会（平坂雅男）
- ・電顕技術フォーラム研究部会（広畑泰久）
- ・電子顕微鏡による光・電子デバイス材料の解析研究部会（桑野範之）
- ・微生物研究部会（後藤俊幸）
- ・分析電子顕微鏡研究部会（堀田善治）

10. 国際会議（APEM および ICEM）の件：2004年 APEM について審議の結果、平井圭一会員を実行委員長とし、金沢市で開催すべく立候補することとした。2006年 ICEM については本会が開催を立候補するか否か等について、「国際会議準備委員会」（藤吉好則、下山 宏、八瀬清志）を発足させ、検討していくこととした。理事会では委員会からの報告に基づき、学会としての方針を決定することとした。また、15th ICEM（2002年）アドバイザー・コミティーとして「高田邦昭・藤吉好則・高柳邦夫」各会員を会長より組織委員会へ推薦することとした。

11. 日本学術会議第18期会員候補者等選定の件：本会より

以下のとおり、日本学術会議に届出をすることとした。

関連研究連絡委員会名：解剖学研連

会員候補者：平野 寛 推薦人：井出千束

推薦人予備者：牛木辰男

12. 日本技術者教育認定機構の件：審議の結果、日本技術者教育認定機構への正会員としての入会を見送ることとした。

13. 広告に関する件：35巻1号・2号が50周年記念特集号となり、通常の号より経費がかかる旨説明された。この経費を補うため、編集委員会を中心に電頭関係の会社より寄付金・祝賀広告を募っている旨報告があり、各役員に対し、協力依頼が行われた。

14. 名誉会員推薦の件：海外著名研究者を名誉会員へ推薦することについて討議が行われ、引き続き、検討していくこととした。また、裏元会長が2000年4月1日に70歳になり内規第6条の必要要件を満たすことから平成12年度総会において推戴すべく準備を進めていくこととした。

15. 学会名称の件：名称変更プログラムについて以下のとおり説明があり、了承された。

- 1) 学会内への対応：八瀬・牛木常務理事を中心に進めていく。会員に対し、学会名称変更の必要性を説明し、理解を求めると同時に新名称について広く意見を求める。
- 2) 賛助会員への対応：下山・西山常務理事を中心に検討を進めていく。
- 3) 定款改訂の手続き：会長・副会長・八瀬常務理事を中心に検討を進めていく。

16. 入退会の件：1999年10月～12月の会員異動について報告が行われ、承認された。

入会：正会員12, 学生3

退会：正会員8

17. 協賛依頼の件：5件の協賛・掲載等を承認した。

◇平成11年度第4回理事会議事要旨

日時：平成12年3月25日(土) 14:00～17:00

会場：学士会分館(東京都文京区)

出席者：(理事) 平野 寛, 石川春律, 八瀬清志, 牛木辰男, 下山 宏, 西山彌生, 井上芳郎, 砂子沢成人, 内山安男, 黒田光太郎, 藤吉好則, 村田長芳, 井出千束, 市野瀬英喜, 畑 俊夫, (監事) 永田文男, 坂 公恭

委任状出席：藤本豊士

オブザーバー：板東義雄(第56回学術講演会実行委員長)

【報告事項】

1. 庶務報告
2. 会計報告：3月16日現在の会計状況および平成11年度概算収支が配布資料に基づき報告された。また、内部留保について「公益法人の設立許可及び指導監督基準の運用指針」

を遵守するよう文部省から連絡があった旨報告があった。これに対処するため、予算外の積立・引当金を本年度決算において行いたい旨説明があり、了承された。額・積立等名称については会計理事に一任することとした。

3. 欧文誌編集委員会報告：欧文誌についての編集準備状況が報告された。JEM 電子化についてのアンケート案が回覧された。また、国際医学情報センターが作成する「医学雑誌特集記事案内データベース」にJEM 目次部分を掲載することを許可した旨報告があった。

4. 和文誌編集委員会報告：井出編集委員長より和文誌についての編集状況が報告された。なお、50周年記念特集号(36-1, 2)について、概要ならびに増ページによる経費増の補填方法(寄付・祝賀広告)について併せて説明があった。

5. 日本臨床電子顕微鏡学会報告：本年度臨床電子顕微鏡学会大会について準備状況が報告された。同大会並びに本会第56回学術講演会において両学会の共通セッションが設けられることが併せて説明された。

6. 第56回学術講演会進捗状況報告：進捗状況が配布資料に基づき、行われた。なお、本年度講演会より学会賞(瀬藤賞)受賞講演が行われることになり、現行制度でこれを行うことに問題点が多々あることからスケジュール等を含めて検討していくこととした。

7. 第11回サマースクール進捗状況報告

8. 第45回シンポジウム進捗状況報告

【議題】

1. 評議員選挙の件：開票結果について報告があり、平成12年度評議員222名が承認された。また、今回の選挙問題点が指摘され、検討していくこととした。

2. 第45回学会賞(瀬藤賞)受賞者決定の件：選考委員会からの報告書に基づき説明があった。審議の後、以下の会員を受賞者とすることが決定した。

【A：顕微法基礎部門】 寺内正己

「高分解能電子エネルギー損失分光電子顕微鏡の開発と応用」

【A：顕微法基礎部門：グループ賞】 高井義造, 市橋幹雄

「実時間焦点位置変調電子顕微鏡の開発」

【B：応用研究(生物)部門】 長船哲齊

「免疫電顕法とコンピュータ・グラフィックスによる光合成蛋白質分子の局在と輸送経路に関する研究」

【C：応用研究(非生物)部門】 古屋一夫

「イオン・電子を用いたその場観察・加工法による材料ナノプロセスの研究」

3. 第15回論文賞授賞論文決定の件：選考経過について配布資料に基づき説明があった。審議の後、以下の論文を授賞論文とすることが決定した。

b：応用研究生物部門：近藤俊三

Journal of Electron Microscopy Vol.47 No.2, 1998

Microinjection methods for visualization of the vascu-

lar architecture of the mouse embryo for light and scanning electron microscopy.

c : 応用研究非生物部門：川崎正博, 及川哲夫, 井部克彦, 朴 慶浩, 塩尻 詢

Journal of Electron Microscopy Vol.47 No.5, 1998

EELS elemental mapping of a DRAM with FE-TEM

4. 第5回技術功労賞受賞者決定の件：選考委員会からの報告書が説明され、審議の後、以下の会員を受賞者とする事が決定した。

③物質系応用研究部門：田中鉄士

「材料の微細組織観察技術の開発、初心者教育、技術向上」

③物質系応用研究部門：坂田孝夫

「電子顕微鏡用試料処理技術の開発とその応用」

5. 第1回奨励賞受賞者決定の件：委員会からの選考経過について配布資料に基づき説明があった。審議の後、以下の会員を受賞者とする事が決定した。

Ⅲ. 物質系応用研究部門：保田英祥

「電顕内その場観察法によるナノブロック固体の構造安定性に関する研究」

6. 和文誌編集委員会委員交代の件：任期满となる猪口哲夫・大隅正子委員の後任に黒岩常祥・菅沼龍夫会員を推薦する旨説明があり、了承され、委嘱することとした。

7. 平成12年度事業計画の件：原案通り承認された。

8. 平成12年度収支予算の件：原案を基本的に承認することとした。なお、管理費・金研連補助金の明示等については会計理事に一任することとした。

9. 学会財政の件：学会財政状況悪化について下山・西山常務理事より説明があり、意見の交換が行われた。その結果、会計担当理事が検討を行い、次回以降の常務理事会・理事会において審議していくこととした。

10. 名誉会員推薦の件：内規に基づき、裏 克己元会長について資格審査が行われ、これを適当と認め、総会に諮ることとした。

11. 出版に関するガイドラインの件：委員会から提出されたガイドライン原案について説明があり、審議が行われた。その結果、本理事会での審議経過を委員会に伝え、修正案を再度提出してもらうこととした。

12. 研究部会の件：学術運営委員会、分科会および研究部会関連内規改訂に関する基本方針が説明され、了承された。次回理事会において内規案を提示、討議することとした。

13. 国際会議に関する件：議題に関し、会長経験者へ行ったアンケート結果について説明が行われた。これをもとについて審議を行った結果、日本電子顕微鏡学会として2006年同会議に立候補することとし、総会に諮ることとした。なお、本件について世界的な動きや国内の状況などを踏まえた意見を評議員から集めることとした。

14. 学会名称に関する件：学会名称について行った会員へ

のアンケート結果について説明が行われた。審議の結果、今後「学会名称変更」の準備を始め、5月18日の総会で新しい学会名称を審議していくこととした。なお、総会前に学会名称変更に関する現在までの動向を評議員へ連絡するとともに意見を求めていくこととした。

15. 役員選出に関する件：会長候補者の選挙方法について配布資料に基づき説明が行われた。審議の後、次回理事会において基本的な事項を決められるように石川副会長を中心に申し合わせ事項を検討していくこととした。

16. 平成12年度総会議案提出の件：平成12年総会議案の常務理事会案が出され、一同これを承認した。議題は以下の通り。

1. 平成11年度事業報告の件
2. 平成11年度収支決算報告の件
3. 監査報告
4. 平成12年度事業計画の件
5. 平成12年度収支予算の件
6. 名誉会員推薦の件
7. 学会名称変更の件
8. 会費滞納者除名の件
9. 2006年国際電子顕微鏡学会議立候補の件
10. 次期役員選任の件
11. 第45回学会賞（瀬藤賞）受賞者の件
12. 第15回論文賞授賞論文の件
13. 第5回技術功労賞受賞者の件
14. 第1回奨励賞受賞者の件
15. その他

17. 入会・退会の件：1999年12月～2000年1・2月分の会員異動について報告が行われ、承認された。

入会：正会員14, 学生8

退会：正会員41, 学生1

18. 協賛等の件：7件の協賛・掲載等を了承した。

◇平成11年度第5回理事会議事要旨

日時：平成12年5月16日（火）16:00～19:00

会場：北とびあ（東京都北区）

出席者：（理事）平野 寛, 石川春律, 八瀬清志, 牛木辰男, 下山 宏, 西山彌生, 砂子沢成人, 藤本豊土, 黒田光太郎, 藤吉好則, 村田長芳, 市野瀬英喜, 井出千束, 畑 俊夫, （監事）永田文男, 坂 公恭

委任状出席：井上芳郎（北海道支部長兼任）、内山安男

オブザーバー：弘津禎彦（和文誌編集委員長）、高田邦昭（出版委員長）、大野伸一（サマースクール実行委員長）、板東義雄（第56回学術講演会実行委員長兼第10回電顕大学企画委員長）、飯島澄男（関東支部長）、木下智見（九州支部長）

【報告事項】

1. 庶務報告：八瀬常務理事より第4回理事会以降の会務について報告が行われた。なお、平成12年度学会賞受賞業績は「JEM：寺内正己，高井義造・市橋幹雄，長船哲齊」，「和文誌：古屋一夫」に投稿される旨報告があった。また前回理事会で坂公恭監事より説明のあった金属工学研連への科研費審査員候補者推薦は見送りとなった旨，同監事より報告があった。

2. 欧文誌編集委員会報告：市野瀬理事より欧文誌編集進捗状況報告が行われた。また，平成12年度科研費が増額したこと，内藤記念財団よりの助成が今後3年間引き続き行われることになった旨併せて説明された。

3. 和文誌編集委員会報告：弘津編集委員長より和文誌編集進捗状況報告が行われた。35巻1号に続き，「50周年記念号」となる2号について目次等の説明が行われた。また和文誌編集委員会での頁数削減の取り組みについて説明が行われ，関係理事・委員長への協力要請が行われた。

4. 技術認定委員会報告

5. 各支部報告（30ページ参照）

6. 日本臨床電子顕微鏡学会報告

7. 学術運営委員会・研究部会報告

8. 第10回電子顕微鏡大学報告：市野瀬理事より4月19，20日に東京大学山上会館で行われた標記大学が所期の目的を果たし，無事終了した旨報告があり，講義テキストが回覧された。また，第11・12回電子顕微鏡大学企画委員長に飯島澄男会員が推薦され，委嘱することとした。

9. 第11回サマースクール準備状況報告

10. 第45回シンポジウム準備状況報告

11. 第57回学術講演会準備状況報告

【議 題】

1. 平成11年度事業報告の件：承認の後，総会に諮ることとした。また，会員の内訳・推移が資料に基づき説明され，会員数が著しく減少していることが説明された。

2. 平成11年度収支決算報告の件：承認の後，総会に諮ることとした。なお，平成11年度決算書よりJEMに係る費用については表記を改める旨説明された。

3. 監査報告

4. 平成12年度事業計画の件：承認の後，総会に諮ることとした。

5. 平成12年度収支予算の件：承認の後，総会に諮ることとした。

6. 会費滞納者除名の件：2年以上会費を滞納している会員へ会費納入を働きかけ，8月末日までに納入無き会員に対しては定款第14条に基づいて除名する旨の提案がされ，承認し，総会に諮ることとした。

7. 学会名称に関する件：4月5日付で行われた評議員に対する調査結果について報告が行われた。審議の後，以下のとおり総会において諮ることとした。「学会名称については

現在の学会名を含め検討をし，次年度総会において決議したい」

8. 2006年国際電子顕微鏡学会議立候補の件：藤吉理事・八瀬常務理事より4月5日付で行われた評議員に対する調査結果等について報告が行われ，審議の後，2006年国際電子顕微鏡学会議を本邦で行うべく，総会に提案することとした。なお，開催地について名古屋地区，または東北・東京地区との案が出され，総会審議の後，再検討することとした。

9. アジア太平洋電子顕微鏡学会・会議に関する件：2004年同会議への立候補届出書をCAPSEM事務局へ送付した旨，報告があった。また，次期CAPSEM役員（会長・理事）を本会より推薦するか否かについて意見交換が行われ，次期理事会に申し送ることとした。

10. 学会財政に関する件：今後の学会財政に関する問題点および対処について配布資料に基づき，説明が行われた。討議の結果，各事業にどれだけの予算を配分すべきか等を審議するよう次期理事会へ申し送ることとした。

11. 学術運営委員会・分科会および研究部会の件：学術運営委員会・分科会・研究部会関連内規改正案が提示された。これに対する学術運営委員会での審議経過が説明され，審議の後，承認された。

12. 学会賞（瀬藤賞）選考スケジュールの変更について：平成12年度より学会賞受賞講演が学術講演会において行われることになり，支障をきたした旨，八瀬常務理事から説明があった。この結果，各賞（学会賞（瀬藤賞），論文賞，技術功労賞，奨励賞）の推薦・選考スケジュールに係る内規改正を行うこととした。改正案の概要は以下のとおり。

①委員任期の記述「1月より12月までの」とあるのを「1年」とし，「任期満了後でも後任が決まるまでその職務を行う」とする。

②推薦・提出の締切等を変更する。

③平成12年度は移行期のため，一部変則的とする。

13. 出版に関するガイドラインについて：高田委員長からガイドライン案について説明があった。意見交換の後，出版委員会でさらに検討をしていくこととした。

14. 次年度以降の役員選出方法に関する件：八瀬常務理事より平成12年度に行う役員選挙についての申し合わせが説明され，審議の後，以下のとおり，承認された。

①複数の会長候補者推薦にあたり，候補者は生物系あるいは非生物系というそれぞれの分野から交互に選ばれることが望ましい。したがって，各支部および理事会からの推薦においては，過去の会長の専門分野を考慮して，全国的な視野で推薦する。

②正会員により信任，通常総会で選任された理事の中から副会長および4名の常務理事は互選により選出されるが，この選出に当たっては，会長のリーダーシップを保障することとする。ただし，副会長においては会長の専門分野と異なることが望ましい。

③庶務および会計担当常務理事においても、それぞれ複数の候補者においては、その専門分野に偏りがないように互選することとする。

④欧文誌・和文誌編集委員長については、現在までと同様に常務理事会の構成員とする。

⑤関連学協会および欧文誌編集委員会からの理事推薦については検討する。

15. 総会・評議員会運営の件：承認

16. 次年度への申し送り事項の件：八瀬常務理事より平成12年度理事会への申し送り事項に関し、配布資料に基づき説明が行われた。審議の後、以下の項目について申し送ることとした。

①会員数の維持・拡大

②学会財政

③役員・評議員の選挙について

④国際会議の誘致

⑤学会名称の件

⑥学術講演会の運営方法について

⑦学会賞等選考スケジュールについて

⑧平成12年度以降の研究部会

⑨JEM 誌に関して

⑩学会のホームページ

17. 入退会の件：2000年3月分の会員異動について報告が行われ、承認された。

入 会：正会員9，学生2，賛助1

退 会：正会員61，賛助2

18. 協賛等の件：八瀬常務理事より標記の件につき、説明があり、7件の協賛・掲載等を了承した。

◇平成12年通常総会議事要旨

日 時：平成12年5月18日（木） 11：30～13：30

会 場：北とびあ（東京都北区）

定足数：116名（役員および評議員総数231名の1/2）

出席者：204名（うち書面による出席者94名）

第1号議案 平成11年度事業報告の件：承認

第2号議案 平成11年度収支決算報告の件：承認

第3号議案 平成12年度事業計画の件：承認

第4号議案 平成12年度収支予算の件：承認

第5号議案 名誉会員推薦の件：裏 克己会員を名誉会員へ推薦する旨が承認された。

第6号議案 学会名称変更の件：会員および評議員への意見聴取等検討経過が説明され、「学会名称について現在の学会名を含め検討を行い、次年度総会において決議したい」という理事会案が提示された。審議の後、これが承認された。

第7号議案 2006年国際電子顕微鏡学会議立候補の件（2004年アジア・太平洋電子顕微鏡学会議に関する報告含）：2006年国際電子顕微鏡学会議への立候補が提案され、承認された。また、2004年アジア・太平洋電子顕微鏡学会議に立候

補することが理事会において決定した報告があった。開催候補地は金沢市、実行委員長は平井圭一会員とし、学術講演会と同時開催で行うという条件のもと、立候補届を提出した旨併せて説明された。

第8号議案 会費滞納者除名の件：平成10年度から会費を滞納している会員を定款14条に基づいて除名する旨の説明が行われ、承認された。なお、除名は平成12年9月1日をもって行うこととした。

第9号議案 役員選任の件：総会終了をもって退任する理事および監事並びに新任理事・監事候補者について、承認された。退任、留任、および新任の理事・監事は次のとおりである。

(新任理事候補者)	(留任理事)	(退任理事)
飯島 澄男	石川 春律	平野 寛
古屋 一夫	牛木 辰男	八瀬 清志
森 博太郎	西山 彌生	下山 宏
長船 哲齊	井上 芳郎	藤本 豊士
臼倉 治郎	砂子沢成人	内山 安男
田中 信夫	藤吉 好則	黒田光太郎
弘津 禎彦	村田 長芳	井出 千東
市野瀬英喜	畑 俊夫	市野瀬英喜
(新任監事候補者)	(留任監事)	(退任監事)
高田 邦昭	坂 公恭	永田 文男

続いて議長は定款16条により留任理事8名、新任理事8名の計16名による会長、副会長および常務理事の互選を求め、総会を一時中断する旨、出席者の了解を得た。理事は互選の結果を次のとおり議長に報告し、議長は総会の再開を宣し、理事互選結果を報告し、満場異議なく承認された。

会 長：石川春律

副 会 長：飯島澄男

常務理事：牛木辰男、古屋一夫、西山彌生、森 博太郎

◇平成12年度第1回理事会議事要旨

日 時：平成12年5月19日（金） 16：00～19：00

会 場：北とびあ（東京都北区）

出席者：(理事) 石川春律、飯島澄男、牛木辰男、古屋一夫、西山彌生、森博太郎、砂子沢成人、長船哲齊、藤吉好則、臼倉治郎、田中信夫、村田長芳、弘津禎彦、市野瀬英喜、畑 俊夫、(監事) 坂 公恭、高田邦昭

委任状出席：(理事) 井上芳郎

オブザーバー：板東義雄（第56回学術講演会実行委員長・第10回電頭大学企画委員長）、柴田洋三郎（第57回学術講演会実行委員長）、大野伸一（第11回電子顕微鏡サマースクール実行委員長）、澤田 元（関東支部長）、永山在明（九州支部長）

【議題】

1. 平成12年度事業計画の件：承認
2. 平成12年度収支予算の件：承認
3. 会費滞納者除名の件：標記該当者リストが回覧され、納入期限を8月末日までとし、それまでに意志無き場合は除名することが了承された。
4. 前年度よりの申し送り事項に関する件：平成11年度理事会からの申し送り事項が配布資料に基づき説明された。意見交換の後、以下の各事項について受理・対処していくこととした。

- ①会員数の維持・拡大
- ②学会財政
- ③役員・評議員の選挙について
- ④国際会議の誘致
- ⑤学会名称の件
- ⑥学術講演会の運営方法について
- ⑦学会賞等選考スケジュールについて
- ⑧平成12年度以降の研究部会
- ⑨JEM誌に関して
- ⑩学会のホームページ

5. 評議員追加承認の件：評議員の追加承認について平成11年総会において役員を辞任した以下の会員を評議員に委嘱することが提案され、承認された。

平野 寛, 八瀬清志, 下山 宏, 藤本豊土, 内山安男,
黒田光太郎, 井出千束, 永田文男

6. 顧問推薦の件：慣例により平野前会長を顧問に推薦したい旨提案があり、定款26条に則り、委嘱することとした。
7. 役員等旅費の件：承認
8. 第46回シンポジウムの件：継続審議
9. 役員選挙の件：役員選挙についてのスケジュール・申し合わせについて説明が行われた。なお、関連学協会および和文誌編集委員会推薦理事については常務理事会において検討していくこととした。
10. 年間予定表の確認：承認された。なお、本年度は常務理事会を8回開催予定である旨補足説明された。
11. 協賛等依頼の件：「第8回材料科学フロンティア電子顕微鏡法国際会議」について承認した。
12. CAPSEMに関する件：CAPSEM会長及び理事候補者を本会から推薦することについて意見交換が行われ、会長・副会長を中心に検討を行い、決定については常務理事会へ一任することとした。また、総会決議を受け、本年度APEM・EUREMにおいて本会が2006年ICEMに立候補することを意志表明することが了承された。
13. ホームページに関する件：ホームページワーキンググループでの討議経過が説明され、以下の改訂について了承された。

- ①入会申込書をページ上に設ける
- ②フロントページの変更（写真コンクールの入賞作品を表

紙にする）

- ③英語ページを設ける
- ④写真コンクール入賞作品のページを設ける
- ⑤賛助会員のページを設ける
- ⑥関連学協会のページの改訂

14. 議事録の取扱について：今まで理事会で承認していた議事録については今後、会議前に書面にて確認を行い、会員へ決定事項を速やかに会報で知らせていきたい旨提案があり、承認された。
15. JEMへの投稿について：JEM編集委員会より質の高い論文を数多くJEM誌へ投稿してもらいたい旨協力要請があった。

【報告】

1. 和文誌編集委員会報告
2. 欧文誌編集委員会報告
3. 技術認定委員会報告：長船委員長より本年度行われる技術認定試験の概要ならびに委員会での討議経過・結果が以下のとおり報告された。また、一般技術認定登録料について学生の場合は、会費に準じ、9,500円から6,000円に減じてはどうかとの提案が出され、了承された。

- ①認定試験合格者に対する呼称について検討を行っている。

- ②合格者に対し徽章を授与することとした。

- ③認定試験のガイドラインを検討している。

- ④模範回答については従来どおりサマースクール実行委員会において作成する。

4. 出版委員会報告：高田委員長より5月17日に行われた同委員会での討議経過が以下のとおり説明された。

- ①出版に関するガイドラインについて審議を行った。支部・研究部会での出版物等の印税・著作権について更に検討を進める。

- ②ガイドラインはこれが理事会で承認された後に発行される出版物から適用されることを確認した。

- ③学術運営委員会に関する内規の改正に伴い出版委員会のあり方を検討する。

5. 平成12年度各支部事業計画・予算報告（33ページ参照）
6. 第10回電子顕微鏡大学報告
7. 第11回サマースクール準備状況報告
8. 第45回シンポジウム準備状況報告
9. 第57回学術講演会準備状況報告

◇平成11年度会務報告および収支決算

1. 平成11年通常総会

平成11年5月19日、名古屋国際会議場（名古屋市）において、以下の議題について審議し、決議した。

- 1) 平成10年度事業報告の件
- 2) 平成10年度収支決算報告の件
- 3) 平成11年度事業計画の件

- 4) 平成11年度収支予算の件
- 5) 名誉会員推薦の件
- 6) 定款一部変更の件
- 7) 会費滞納者除名の件
- 8) 役員選任の件

2. 役員

1) 平成11年通常総会において、本学会役員が次のように決定し、平成11年度の会務はこれらの役員によって行われた。

会長：平野 寛

副会長：石川春律

常務理事（庶務担当）：八瀬清志，牛木辰男

（会計担当）：下山 宏，西山彌生

理事：井上芳郎，藤本豊土，砂子沢成人，内山安男，
黒田光太郎，藤吉好則，村田長芳，井出千束，
市野瀬英喜，畑 俊夫

監事：永田文男，坂 公恭

なお、平成10年度会長：日比野倫夫，理事：高田邦昭，及川哲夫，武田正子，進藤大輔，北野保行，永山在明，監事：臼倉治郎の諸氏は退任した。

2) 顧問の委嘱

第1回理事会において日比野前会長は顧問に推薦された。

3) 評議員の追加推薦

第1回理事会において、平成10年度をもって退任した理事：高田邦昭，及川哲夫，武田正子，進藤大輔，北野保行，永山在明，監事：臼倉治郎の諸氏に対し評議員への追加推薦が行われた。

3. 会員関係

1) 平成12年3月31日現在、会員状況は次のとおりである。

正会員数：2,275名（海外会員18名，永年会員30名，
学生40名含）

支部別正会員数：	北海道支部	68名
	関東支部	1,231名
	関西支部	764名
	九州支部	194名

賛助会員：78社（141口）

名誉会員：25名（海外3名含）

2) 会員異動

	入会数	退会数	除名（会費滞納）
正会員	147名	221名	51名
	（学生44名含）（学生1名含）		
賛助会員	2社	8社	—

3) 逝去会員

林 行信，伊藤洋二，小松文朗，渡辺 勝の4会員が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

4. 事業

1) 第9回電子顕微鏡大学（企画委員長：板東義雄）は平

成11年4月20日（火）～21日（水）に東京大学山上会館（東京都文京区）で行われた。参加者は72名であった。

2) 創立50周年記念事業（委員長：濱 清）は平成11年5月18日（火）～19日（水）に名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）で行われた。

3) 第55回学術講演会（実行委員長：坂 公恭）は平成11年5月18日（火）～21日（金）に名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）で行われた。演題等は314題，参加者は691名であった。

4) 第10回電子顕微鏡サマースクール（実行委員長：猪口哲夫，世話人：相磯貞和）は平成11年8月5日（木）～7日（土）に慶應義塾大学医学部（東京都新宿区），日製産業株式会社森の里テクノプラザ（神奈川県厚木市）で行われた。参加者は100名であった。

5) 第44回シンポジウム（実行委員長：坂井建雄）は平成11年11月17日（水）～19日（金）に順天堂大学本郷キャンパス（東京都文京区），日本大学会館，アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で行われた。参加者は286名であった。

6) 欧文誌“Journal of Electron Microscopy”は第48巻2～6号および第49巻1号（編集委員長：田中通義）を発行，1,100頁であった。

7) 和文誌「電子顕微鏡」は第34巻：2～3号および第35巻1号（編集委員長：井出千束）を発行，272頁であった。

8) 会報は3回・54頁（和文誌「電子顕微鏡」へ綴じ込み）を発行した。

9) 創立50周年記念事業・第55回学術講演会プログラム（38頁）を発行した。

10) 創立50周年記念事業・第55回学術講演会発表要旨集（334頁）を発行した。

11) 第44回シンポジウムプログラム（18頁）を発行した。

12) 第44回シンポジウム論文集（296頁）を発行した。

13) 日本電子顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）

第44回委員会（委員長：田中通義）は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第45回委員会（委員長：日比野倫夫）は、候補者について審議し、第4回理事会は平成12年度受賞者を決定した（受賞者は平成11年度第4回理事会議事要旨（23頁）参照）。

14) 論文賞

第14回委員会（委員長：澤田 元）は内規に基づき候補論文推薦に関する協議を行った。第15回委員会（委員長：平賀賢二）は、候補論文について審議し、第4回理事会は平成12年度授賞論文を決定した（授賞論文は平成11年度第4回理事会議事要旨（23・24頁）参照）。

15) 技術功労賞

第4回委員会（委員長：高橋平七郎）は候補者推薦に関する協議を行った。第5回委員会（委員長：堀内繁雄）は、候補者について審議し、第4回理事会は平成12年度受賞者を決定した（受賞者は平成11年度第4回理事会議事要旨（24頁）

参照).

16) 奨励賞

第1回委員会(委員長:友清芳二)は、候補者について審議し、第4回理事会は平成12年度受賞者を決定した(受賞者は平成11年度第4回理事会議事要旨(24頁)参照).

17) 電子顕微鏡技術認定試験

電子顕微鏡技術認定委員会(認定委員長:長船哲齊)は本学会主催、日本臨床電子顕微鏡学会協賛で次の技術認定試験を行った.

第22回一般技術および第21回特殊技術認定試験

期日:2000年10月16日

会場:慈恵医大,大阪医大,久留米大

一般技術(生物) 特殊技術(生物)

受験者数: 36名 9名

認定登録者: 27名 3名

18) 研究部会

下記の17テーマの研究部会が承認され、活動した(()内は責任者).

①新しい顕微鏡法を中心とした病態解析研究部会

(長村義之)

②カソードルミネッセンス研究部会

(一色俊之)

③共焦点レーザー顕微鏡研究部会

(村上 徹)

④高性能電子顕微鏡技術研究部会

(丹司敬義)

⑤生物試料解析のための走査型プローブ顕微鏡法研究部会

(伊藤悦朗)

⑥SEM 研究部会

(近藤俊三)

⑦先端材料解析研究部会

(平坂雅男)

⑧電子顕微鏡周辺機器の活用・開発とその応用に関する研究部会

(武藤俊介)

⑨電子顕微鏡とニューマイクロスコープの基礎研究部会

(平山博之)

⑩電子顕微鏡による光・電子デバイス材料の解析研究部会

(柔野範之)

⑪電子分光結像法研究部会

(八瀬清志)

⑫電顕技術フォーラム研究部会

(広畑泰久)

⑬ナノ構造形成の安定性と時間分解画像解析研究部会

(一宮彪彦)

⑭微生物の構造解析技法研究部会

(後藤俊幸)

⑮分析電子顕微鏡研究部会

(砂子沢成人)

⑯分析電子顕微鏡とニューマイクロスコープの医学生物試料への応用研究部会

(雨宮次生)

⑰有機高分子材料研究部会

(山延 健)

5. その他

次期役員候補者の決定(第3回理事会議事要旨21頁参照)

※平成11年度収支決算は40頁から掲載します。

◇平成12年度事業計画および収支予算

1. 学術講演会, シンポジウム等の開催

1) 第10回電子顕微鏡大学(企画委員長:板東義雄)は平成12年4月19日(水)~20日(木)に東京大学山上会館(東京都文京区)において開校。

2) 第56回学術講演会(実行委員長:板東義雄)は平成12年5月17日(水)~19日(金)に北とびあ(東京都北区)において開催。

3) 第11回電子顕微鏡サマースクール(実行委員長:大野伸一)は平成12年8月23日(水)~25日(金)に山梨医科大学(山梨県中巨摩郡)において開校。

4) 第45回シンポジウム(実行委員長:藤吉好則)は平成12年11月21日(火)~22日(水)にて岡崎コンファレンスセンター, 岡崎国立共同研究機構職員会館(愛知県岡崎市)において開催。

2. 学会誌, 会報等の発行

1) 欧文誌"Journal of Electron Microscopy"(編集委員長:田中通義)は第49巻2号~6号, 50巻1号を刊行する予定である。

2) 和文誌「電子顕微鏡」(編集委員長:井出千束)は第35巻2号~3号, 36巻1号を刊行する予定である。

3) 会報は「電子顕微鏡」へ綴じ込みにて年3回刊行予定

3. 事業

1) 賞の授与:平成12年5月18日(木)(於:通常総会)

第45回日本電子顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)・

第15回論文賞・第5回技術功労賞・第1回奨励賞

2) 電子顕微鏡技術認定試験(認定委員長:長船哲齊)

平成12年10月14日に第23回一般技術および第22回特殊技術を東京, 大阪, 九州の各地で実施予定

3) 研究部会(14件:平成11年度第3回理事会議事要旨22頁参照)

4. 委員会

1) 欧文誌編集委員会
(委員長:田中通義, 任期:平成12年12月末日まで)

2) 和文誌編集委員会
(委員長:弘津禎彦, 任期:平成14年3月末日まで)

3) 技術認定委員会
(委員長:長船哲齊, 任期:平成13年3月末日まで)

4) 第45回日本電子顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)選考委員会
(委員長:日比野倫夫, 任期:平成12年12月末日まで)

5) 第15回論文賞選考委員会
(委員長:平賀賢二, 任期:平成12年12月末日まで)

6) 第5回技術功労賞選考委員会
(委員長:堀内繁雄, 任期:平成12年12月末日まで)

7) 第1回奨励賞選考委員会
(委員長:友清芳二, 任期:平成12年12月末日まで)

8) 第56回学術講演会実行委員会
(委員長:板東義雄, 任期:平成12年12月末日まで)

- 9) 第57回学術講演会実行委員会
(委員長：柴田洋三郎，任期：平成13年12月末日まで)
- 10) 第45回シンポジウム実行委員会
(委員長：藤吉好則，任期：平成12年12月末日まで)
- 11) 第11回電子顕微鏡サマースクール実行委員会
(委員長：大野伸一，任期：平成12年12月末日まで)
- 12) 第10回電子顕微鏡大学企画委員会
(委員長：板東義雄，任期：平成12年12月末日まで)
- 13) 出版委員会
(委員長：高田邦昭，任期：平成13年3月末日まで)
- 14) 学術運営委員会
(委員長：石川春律，任期：平成13年総会まで)

5. 平成11年度年度役員

平成12年度通常総会において新役員が次のように決定しました。

会 長：石川春律

副会長：飯島澄男

常務理事：牛木辰男，古屋一夫，西山彌生，森博太郎

理 事：井上芳郎，砂子沢成人，長船哲齊，藤吉好則，

白倉治郎，田中信夫，村田長芳，弘津禎彦，

市野瀬英喜，畑 俊夫

監 事：坂 公恭，高田邦昭

※平成12年度収支予算に関する報告は47頁より掲載します。

◇平成11年度支部活動と会計報告

《北海道支部》

I. 事業報告

1. 支部総会・学術講演会

日 時：平成12年2月5日(土)

場 所：北大医学部臨床大講堂

一般講演：15題

特別講演：3題

- ・「原子間力顕微鏡と透過型電子顕微鏡を用いた金属相変態の研究」

丸川健三郎(北海道大学工学部)

- ・「HAADF-STEM による原子尺度組成分析」

塩尻 詢(金沢医科大学)

- ・「リソソームカタプシン D：神経細胞死誘導因子及び Batten 病の原因遺伝子か」

内山安男(大阪大学医学部)

2. 支部役員会

第1回役員会

日 時：平成11年11月22日(北大医学部)

第2回役員会

日 時：平成12年2月5日(北大医学部)

3. 研究会・講演会《超高压電顕講演会》

日 時：平成12年3月14日(北大工学部)

II. 収支計算書

(単位：円)

収入の部		
科 目	予 算 額	決 算 額
支部割当金	494,536	478,803
雑 収 入	200	312
前年度繰越金	86,539	86,539
合 計	581,275	565,654
支出の部		
科 目	予 算 額	決 算 額
総会・学術講演会	320,000	394,292
研 究 会 等	120,000	10,000
会 議 費	20,000	31,200
交 通 費	40,000	10,000
印 刷 費	50,000	50,400
通 信 費	30,000	13,340
予 備 費	1,275	10,185
合 計	581,275	519,417
次年度繰越金		46,237

《関東支部》

I. 事業報告

1. 平成11年度関東支部役員

支 部 長：飯島澄男(NEC 研究開発)

副支部長：澤田 元(横浜市大)

庶務監事：古屋一夫(金材技研)

会計監事：山口正視(千葉大)

指名幹事：佐藤眞美子(日本女子大)

2. 支部評議員会

平成12年3月18日(土) 12:30~13:15

日本女子大学 泉山館2階第3会議室

3. 支部総会

平成12年3月18日(土) 13:15~14:00

日本女子大学 八十年館B棟5階851番教室

4. 支部講演会

平成12年3月18日(土) 9:30~19:30

日本女子大学 八十年館B棟5階851番教室

主 題：デジタル電子顕微鏡法入門—画像コミュニケーションへの展開

実行委員長：澤田 元

5. 常任幹事会

日本女子大学 泉山館2階第2会議室

6回(4/17, 5/8, 9/18, 臨時10/30, 12/4, 2/12)

6. 幹事会

日本女子大学 泉山館2階第3会議室

4回(5/8, 9/18, 12/4, 2/12)

7. 支部報の発行

2回(7月, 1月)

8. 支部企画出版

走査電子顕微鏡（平成10年度計画の継続）

9. 電子顕微鏡試料作製・観察実技講習会

講習科目：

生物試料超薄切片法（医・生物）	5名
走査電子顕微鏡試料作製法（医・生物）	3名
共焦点レーザー顕微鏡（医・生物）	1名
電顕組織細胞化学（医・生物）	1名
凍結超薄切片法（医・生物）	1名
オートラジオグラフィ（医・生物）	1名
マウス胎仔血管鋳型作製法（医・生物）	2名
エネルギー・フィルター像の観察技術（材料）	1名
分析電子顕微鏡の基礎と応用（医・生物／材料）	3名
高分解能電子顕微鏡観察法（セラミックス）	1名
高分子材料の電子顕微鏡試料作製法（共通）	3名

計 22名

10. 平成12年度（2000年度）本部役員候補の推薦（第3回幹事会）（敬称略）

全国的視野での理事候補：飯島澄男（NEC 研究開発）

常務理事候補：古屋一夫（金材技研）

理事候補：長船哲斉（日体大）

監事候補：高田邦昭（群馬大・調節研）

11. 平成12年度（2000年度）関東支部役員を選出（第3回幹事会）（敬称略）

支部長：澤田 元（横浜市大・医，現副支部長）

副支部長：板東義雄（無機材研）

II. 収支計算書

（単位：円）

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
繰越金	1,577,824	3,102,693
支部割当金	1,356,434	1,356,434
*雑収入	1,630,000	1,231,476
合 計	4,564,258	5,690,603

*支部講演会収入＋実技講習会収入＋銀行利子

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
通 信 費	500,000	291,333
行 事 費	500,000	99,750
会 議 費	300,000	194,186
交 通 費	700,000	740,300
印 刷 費	150,000	262,374
事 務 委 託 費	300,000	460,819
予 備 費	100,000	0
支部講演会	1,310,000	1,162,974
繰越充当金	704,258	2,478,867
合 計	4,564,258	5,690,603

《関西支部》

I. 事業報告

1. 支部総会

日 時：平成11年7月30日（金） 13：00～13：30

場 所：京大会館

議 題：

- 1) 平成10年度事業報告及び収支決算報告
- 2) 平成11年度事業計画及び収支計画
- 3) その他

2. 特別講演会

日 時：平成11年7月30日（金） 13：45～17：00

場 所：京大会館

セッションⅠ：最新電子顕微鏡技術と応用（装置開発関連）

- 1) 「能動型電子顕微鏡」 高井義造（阪大・工）
- 2) 「電子波干渉による微小電磁場の直接観察」
平山 司（フラインセラミックスセンター）
- 3) 「ナノ粒子における急速合金化と微細構造変化」
保田英洋（阪大・超高压電顕センター）

セッションⅡ：組織から細胞・分子へ

- 4) 「隠れた構造を走査電子顕微鏡で観る」
大谷 修（富山医薬大・医）
- 5) 「カベオラとカベオリンの細胞生物学的解析」
藤本豊士（名大・医）
- 6) 「種々のアポトーシス同定法の特徴と問題点」
大槻勝紀（阪医大）

参加者：約80名

3. 外国人講演会

第1回 平成11年5月21日（金）

富山大学工学部大会議室（世話人：松田健二）
Dr. James Maxwell Howe パージニア大学
「極限の材料観察」

第2回 平成11年7月12日（月）

富山医科薬科大学医学部（世話人：高屋憲一）
Dr. Purshattam Das Gupta

インド・細胞分子生物学研究所

「Role of Calcium in Keratinization of Vaginal Epithelial Cells」

第3回 平成11年10月29日（金）

富山大学理学部（世話人：岡部俊夫）
Dr. Claude Sella パリ大学固体光学研究所
「ナノコンポジット薄膜のマイクロ構造と光学特性」

第4回 平成11年12月16日（木）

京都大学医学部（世話人：井出千束）
Dr. Ii-sei Watanabe

ブラジル・サンパウロ大学生物医学研究所

「知覚受容器の微細構造」

4. 電子顕微鏡技術研究会：「生体構造の解析から分子の観察まで」（実行委員長：伊東隆夫）

日 時：平成11年11月13日（土） 9：30～17：00

場 所：芝蘭会館

第1部：細胞の機能を観る

- 1) 「癌抑制遺伝子産物 APC の局在と機能」
千田隆夫（名大・医）
- 2) 「GFP 融合蛋白質を用いた分泌経路の観察」
渡部 剛（阪大・医）
- 3) 「成長円錐とシナプスにおける細胞間接着機構」
溝口 明（京大・医）

第2部：分子を観る

- 4) 「高分解能構造生物学研究のための低温電子顕微鏡法」
村田和義（岡崎・生理学研）
- 5) 「高分解能構造研究のための2次元結晶画像解析」
光岡 薫（京大・理）
- 6) 「バクテリアのべん毛及びその関連蛋白質の構造解析」
米倉功治（ERATO・難波プロジェクト）

第3部：植物細胞を観る

- 7) 「細胞壁成分の堆積過程と局在」
高部圭司（京大・農）
- 8) 「セルロースの生合成と細胞膜の構造」
奥田一雄（高知大・理）
- 9) 「セルロース—繊維状多糖類結晶の構造解析」
杉山淳司（京大・木質研）

5. 役員会

1) 支部評議員会

日 時：平成11年7月30日（金） 12：00～13：00
場 所：京大会館

2) 幹事会

第1回幹事会：

日 時：平成11年5月15日（土） 14：00～16：00
場 所：日本電子(株)大阪支店会議室

平成10年度事業・決算報告、平成11年度事業計画・予算案等

第2回幹事会：

日 時：平成11年7月30日（金） 11：00～12：00
場 所：京大会館

平成11年度総会議事、その他

第3回幹事会：

日 時：平成11年12月4日（土） 14：00～16：00
場 所：日本電子(株)大阪支店会議室

本部理事候補の選出、支部長・副支部長候補の選出等

第4回幹事会：

日 時：平成12年5月（平成12年度第1回幹事会と合同）

上記選挙結果報告、平成11年度事業・決算報告等

6. 本部理事候補の推薦

常務理事候補：森博太郎

理事候補：白倉治郎、田中信夫

7. 本部評議員候補：72名選出

8. 支部長・副支部長選挙

支 部 長：弘津禎彦（大阪大学）

副支部長：石村和敬（徳島大学）

9. 監査：平成12年4月13日

II. 収支計算書

(単位：円)

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
支部割当金収入	986,980	986,980
受 取 利 息	1,000	577
当期収入合計	987,980	987,557
前期繰越収支差額	1,260,824	1,260,824
合 計	2,248,804	2,248,381

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
支部事業費		
通 信 費	150,000	111,780
印 刷 費	70,000	77,511
事 務 費	130,000	116,715
会 場 費	50,000	30,975
会 議 費	50,000	75,500
総 会 費	50,000	40,000
交 通 費	350,000	235,420
外人講演会費	100,000	80,000
研究会補助費	300,000	194,581
予 備 費	100,000	0
当期支出合計	1,350,000	962,482
次期繰越収支差額	898,804	1,285,899

《九州支部》

I. 事業報告

1. 第41回支部総会ならびに支部評議員会の開催

日 時：平成11年11月27日

場 所：九州大学国際ホール

(世話人：友清芳二)

2. 学術講演会の開催

日 時：平成11年11月27日

場 所：九州大学国際ホール

会 長：友清芳二（九州大学大学院工学研究科）

特別講演：「電子線結晶学とそれで解ること」

藤吉好則（京都大学大学院理学研究科）

3. 支部主催セミナーの開催

日 時：平成11年8月28日

場 所：九州大学医学部臨床研究棟（世話人：真鍋武志）

4. 九州支部評議員および本部評議員選挙

平成12年11月～12月

II. 収支計算書

(単位：円)

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
支部交付金	583,553	583,553
銀行利息		643
小 計	583,553	584,196
前年度繰越金	992,946	992,946
合 計	1,576,499	1,577,142

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
支部総会助成金	400,000	400,000
支部総会招待講演助成金	100,000	100,000
九州電顕技術者研究会助成金	50,000	50,000
支部主催セミナー助成金	200,000	200,000
通信連絡費	100,000	42,850
印刷費	100,000	0
事務費	10,000	5,103
予備費	10,000	0
小 計	970,000	797,953
次年度繰越金	606,499	779,189
合 計	1,576,499	1,577,142

◇平成12年度支部事業計画・予算

《北海道支部》

I. 事業計画

1. 役員会を年2～3回開催
2. 支部総会学術講演会を例年とおり2月に開催
3. 医学生物/SEM/超高压電顕の各研究会および講演会の開催
4. その他

II. 予算書

(単位：円)

収入の部

科 目	予 算 額
支部割当金	477,841
雑収入	200
前年度繰越金	41,959
合 計	520,000

支出の部

科 目	予 算 額
総会・学術講演会	420,000
研 究 会	70,000
会 議 費	5,000
交 通 費	15,000
通 信 費	5,000
予 備 費	5,000
合 計	520,000

《関東支部》

I. 事業計画

1. 役員人事

支 部 長：澤田 元（横浜市大）
副支部長：板東義雄（無機材質研究所）
庶務幹事：大野伸一（山梨医大）
会計幹事：関口隆史（金属材料技術研究所）
指名幹事：尾野道男（横浜市大）

2. 支部総会，支部講演会の開催

平成13年3月17日（予定場所：日本女子大学の予定）

3. 幹事会（4回），常任理事会（5回）

4. 電子顕微鏡試料作製・観察技術講習会の実施（春の講習，秋の講習）

5. 支部報の発行（2回；7月，1月）

6. 支部企画出版：走査電子顕微鏡（前年度より継続）

II. 予算書

(単位：円)

収入の部

科 目	予 算 額
繰 越 金	2,328,785
支部割当金	1,300,215
支部講演会収入	1,300,000
実技講習会収入	1,110,000
雑 収 入	1,000
合 計	6,040,000

支出の部

科 目	予 算 額
通 信 費	500,000
行 事 費	200,000
会 議 費	300,000
交 通 費	700,000
印 刷 費	150,000
事務委託費	300,000
支部講演会	1,300,000
支部実技講習会	910,000
予 備 費	100,000
繰越充当金	1,580,000
合 計	6,040,000

《関西支部》

I. 事業計画

1. 幹事会

第1回幹事会

日 時：平成12年5月13日（土）

場 所：日本電子(株)大阪支店会議室

第2回幹事会

日 時：平成12年7月28日（金）

場 所：大阪大学銀杏会館

第3回幹事会

日時：平成12年12月9日(土)

場所：日本電子(株)大阪支店会議室

第4回幹事会

日時：平成13年5月(平成13年度第1回幹事会と合同)

2. 支部評議員会

日時：平成12年7月28日(金)

場所：大阪大学銀杏会館

3. 支部総会

日時：平成12年7月28日(金)

場所：大阪大学銀杏会館

4. 特別講演会

日時：平成12年7月28日(金)

場所：大阪大学銀杏会館

5. 外国人講演会(5件程度を予定)

6. 電子顕微鏡技術研究会

日時：平成12年12月8日(金)

場所：大阪大学銀杏会館

7. 支部長・副支部長選挙

平成13年2月

II. 予算書

(単位：円)

収入の部	
科目	予算額
支部割当金収入	958,931
受取利息	1,000
前期繰越額	1,285,899
合計	2,245,830
支出の部	
科目	予算額
支部事業費	
通信費	150,000
印刷費	70,000
事務費	100,000
会場費	50,000
会議費	50,000
総会費	50,000
交通費	400,000
外国人講演会費	100,000
研究会補助費	300,000
予備費	100,000
合計	1,370,000
次期繰越額	875,830

《九州支部》

I. 事業計画

1. 第42回支部総会ならびに支部評議員会の開催

日時：平成12年12月2日(土)

場所：久留米大学医学部

2. 学術講演会の開催

日時：平成12年12月2日(土)

場所：久留米大学医学部

会長：吉塚光明(久留米大学医学部)

特別講演：未定

3. 支部主催セミナーの開催

日時：平成12年6月10日(土)

場所：大分医科大学

テーマ：SEM技法の開発と応用

演題と講師：

1) 「低真空 SEM 技術と応用」

山田満彦(日立サイエンスシステムズ)

2) 「組織化学 SEM 法」

加藤征治(大分医科大学・解剖学講座第一)

3) 「化学的消化 SEM 法」

島田達生(大分医科大学・基礎看護学講座)

4) 「遺伝子はどこまで見えるか ～染色体の立体構造～」

飯野晃啓(鳥取大学医学部解剖学第一講座)

世話人：加藤征治(大分医科大学)

4. 本部評議員候補者選挙

平成12年11月～12月

II. 予算書

(単位：円)

収入の部	
科目	予算額
支部交付金	583,553
前年度繰越金	779,189
合計	1,362,742
支出の部	
科目	予算額
支部総会助成金	400,000
支部総会招待講演助成金	100,000
九州電顕技術者研究会助成金	50,000
支部主催セミナー助成金	200,000
通信連絡費	100,000
印刷費	100,000
事務費	10,000
予備費	10,000
小計	970,000
次年度繰越	392,742
合計	1,362,742

◇平成11年度研究部会活動・会計報告

1. 新しい顕微鏡法を中心とした病態解析研究部会

(責任者：長村義之)

「活動概要」

第44回シンポジウムに参加し、シンポジウムを開催した。

内容は、「細胞機能形態と環境変化との相互関係の超微形態観察 part II —共焦点レーザー顕微鏡を用いた細胞機能・動態・環境の解析—」であった。

「会計報告」

科目	項目	決算(円)
収入	補助金	119,000
	利息	2
	合計	119,002
支出	通信連絡費	1,880
	講師旅費	85,000
	会議費	27,650
	振込料	420
	本部返金	4,052
	合計	119,002

2. カソードルミネッセンス研究部会 (責任者: 一色俊之)

「活動概要」

第55回学術講演会(5月20日,名古屋)にシンポジウム「カソードルミネッセンス顕微鏡法 —先端材料の解析を目指して—」を開催し,第44回シンポジウム(11月18日,東京)に「ワイドギャップ半導体のカソードルミネッセンス評価」と題するワークショップを開催した。

「会計報告」

科目	項目	決算(円)
収入	本部補助金	119,000
	預金利息	34
	合計	119,034
支出	通信連絡費	525
	講師旅費謝金	95,000
	学会本部返金	23,509
	合計	119,034

3. 共焦点レーザー顕微鏡研究部会 (責任者: 村上 徹)

「活動概要」

平成11年7月19・20日に国立赤城青年の家において第8回コンフォーカル488サマーシンポジウム(テーマ:共焦点顕微鏡および関連技術の討論)を開催した。企画演題7題,一般演題6題,ワークショップ4題を得て,泊り込みで十分に討論し,参加者(69名)相互の親交を深めることができた。

「会計報告」

科目	項目	決算(円)
収入	学会本部補助金	119,000
	参加費	171,370
	協賛金	26,410
	前年度繰越	52,042
	預金利息	22
	合計	368,844
支出	通信連絡費	12,800
	印刷費	30,200
	会場費	136,660
	講師旅費謝金	170,000
	消耗品費	10,101
	合計	359,761
	本部返金	9,083

4. 高性能電子顕微鏡技術研究部会 (責任者: 丹司敬義)

「活動概要」

(1) 第44回シンポジウムにおいて,「高性能電子顕微鏡法の将来展望」をテーマに第1回研究会を実施し,約80名の参加者があり活発な討議が行われた。(概要集は「電子顕微鏡」Vol.34 Suppl.2 (1999) pp.197-224に掲載)

(2) 平成12年1月31日に名古屋大学において「新しい電界放出電子源」をテーマに第2回研究会を実施し,超伝導状態からの超コヒーレントビームの放出など,次世代の電子源の可能性について活発な討議が行われた。

「会計報告」

科目	項目	決算(円)
収入	前期繰越金	55,046
	学会補助金	119,000
	預金利息	70
	合計	174,116
支出	通信連絡費	20,870
	講師旅費謝金	75,000
	会議費	5,250
	消耗品費	420
	学会本部返金	72,576
	合計	174,116

5. 生物試料解析のための走査型プローブ顕微鏡法研究部会

(責任者: 伊藤悦朗)

「活動概要」

研究部会主催の勉強会(テーマ:走査型プローブ顕微鏡に適した試料作成法ならびに生物試料に適した顕微鏡観察法の検討)を平成11年11月28・29日に新潟県越後湯沢で開催した。昼夜に渡る発表と議論によって多くのブレイクスルーを見出した。また研究部会としてJEMで特集号を組むことになり,その号は近々配布される。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	銀 行 利 子	12
	雑 収 入	3
	合 計	119,015
支 出	会 場 費	81,500
	人 件 費	37,500
	消 耗 品 費	15
	合 計	119,015

6. SEM 研究部会 (責任者: 近藤俊三)

「活動報告」

第55回学術講演会において、“SEM シグナルへの新たな挑戦”をテーマとして SEM フリートーキングを行った。参加者は約90名。8月27日には、SCAN TECH '99 を帝京大学医学部において開催した。SEM フリートーキングでの内容をより詳細に討議する目的で、“SEM で何がどこまでわかるか —シグナルが訴える試料の本質—”をテーマとした。参加者は約90名であった。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	参 加 費	327,500
	繰 越 金	5,429
	利 息	21
	合 計	451,950
支 出	通信連絡費	28,699
	印 刷 費	78,830
	会 場 費	10,000
	講師旅費謝金	168,000
	会 議 費	121,177
	人 件 費	16,000
	消 耗 品 費	20,126
	ミキサー	6,000
	合 計	448,832
	次年度繰越金	3,118

7. 先端材料解析研究部会 (責任者: 平坂雅男)

「活動概要」

先端材料をいかにして解析評価するかを討議するフォーラムを夏と春に開催した。ここでは、先端材料の結晶粒界での解析手法の討議、不良解析・故障解析におけるサンプリング手法についての討議、コンピュータによる二次元フーリエ変換を用いた解析手法についての討議を行なった。また、先端材料解析のためのウルトラミクロトーム技法についての講演会を実施した。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	前年度繰越金	36,448
	学会本部補助金	119,000
	第17回研究会参加費	795,000
	第18回研究会参加費	117,000
	利 息	43
合 計	1,067,491	
支 出	第17回研究会	802,467
	第18回研究会	117,198
	ウルトラミクロトーム講演会	48,825
	インターネットホームページ保守料	15,895
	通信連絡費	28,800
	会 議 費	52,795
	残 金	1,511
	合 計	1,067,491

8. 電子顕微鏡周辺機器の活用・開発とその応用に関する研究部会 (責任者: 武藤俊介)

「活動報告」

超高压電子顕微鏡をキーワードとして取り上げ、平成12年2月28日(月)に大阪大学吹田キャンパス荒田記念館において「超高压超高分解能電子顕微鏡法と HAADF-STEM 法との比較と将来展望」をテーマに研究会を実施した。超高压電子顕微鏡や HAADF-STEM のユーザー約20名が集い、超高分解能化における超高压電子顕微鏡の有用性について議論した。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	110,000
	前年度繰越金	154,776
	利 息	115
	合 計	254,891
支 出	通 信 費	11,860
	講 師 旅 費	90,000
	アルバイト用員旅費	21,440
	雑 費	2,004
	印 刷 費	44,100
	次年度繰越金	85,487
	合 計	254,891

9. 電子顕微鏡とニューマイクロスコープの基礎研究部会 (責任者: 平山博之)

「活動概要」

第44回シンポジウムにおいて、「TEM・STEM によるナノ構造の形成と安定性」をテーマに「ナノ構造形成の安定性と時間分解画像解析研究部会」との共同で研究会を実施した。約60名の参加者があり活発な討議が行われた。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	合 計	119,000
支 出	講師旅費謝金	40,000
	合 計	40,000
	本部返金	79,000

10. 電子顕微鏡による光・電子デバイス材料の解析研究会
会（責任者：桑野範之）

「活動概要」

平成11年11月5日に九州大学において「TEMによる構造解析の現状と問題点」研究会を開催した。製品あるいは製品に近い材料での組織上の問題点とそれに対応するTEM技術応用の実際を検討した。デバイス開発・研究のみならず、製造プロセスでのTEM開発の発展が認識された。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	予稿集代	13,500
	交流会参加費	10,000
	利 息	40
	合 計	142,540
支 出	予稿集製本代	16,800
	講師旅費補助	55,000
	消耗品費	7,875
	通信連絡費	5,230
	会 議 費	15,405
	人 件 費	32,000
	次年度繰越金	10,230
	合 計	142,540

11. 電子分光結像法研究会（責任者：八瀬清志）

「活動概要」

平成11年11月5・6日に胎内パークホテルにおいて「エネルギー・フィルター電頭の生物・材料応用の現状」をテーマに研究会を開催した。生物・材料系の研究者が集まり、2名の依頼講演に加えて、参加者による6件の話題提供があった（参加者19名）。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	雑 収 入	252
	前年度繰越金	39,000
	合 計	158,252
支 出	通信連絡費	700
	印 刷 費	6,000
	会 場 費	22,495
	講 師 旅 費	80,000
	人 件 費	30,000
	消 耗 品 費	19,057
	合 計	158,252

12. 電顕技術フォーラム研究会（責任者：広畑泰久）

「活動概要」

2000年2月19日にシンポジウムとして「血液を電顕でみる」、ワークショップとして実験から得られた成果に基づいた「脱水・置換における諸問題」を東京慈恵会医科大学南講堂で行った。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,100
	参 加 費	155,000
	前年度繰越金	15,975
	利 息	39
	合 計	290,114
支 出	通信連絡費	28,380
	会 議 費	100,559
	消 耗 品 費	12,363
	口座開設費	1,150
	実験材料費	35,658
	ポスター・要旨集作成費	45,000
	小 計	283,210
	次年度繰越金	6,904
	合 計	290,114

13. ナノ構造形成の安定性と時間分解画像解析研究会

（責任者：一宮彪彦）

「活動概要」

本研究部会では、電子顕微鏡や走査プローブ顕微鏡などを用いて、原子レベルからメソスコピック領域におけるいわゆるナノ構造の安定性を時間の関数として観測し、その画像の時間分解解析技術などをテーマに、第44回シンポジウムにおける企画「TEM, STMによるナノ構造の形成と安定性」および部会研究会「ナノ構造の安定性と時間分解画像解析」を開催した。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	100,000
	利 息	27
	合 計	100,027
支 出	講師旅費謝金	81,500
	会 議 費	1,281
	人 件 費	5,000
	繰 越 金	12,246
	合 計	100,027

14. 微生物の構造解析技法研究部会 (責任者: 後藤俊幸)

「活動概要」

平成11年11月17日 日本電子顕微鏡学会第44回シンポジウムで、「電子顕微鏡による 微生物領域での今日までの成果と将来への展望」をテーマに、

- 1) 「真菌研究の過去, 現在そして将来」
大隅正子 (日本女子大)
- 2) 「マラリア研究の今日までと今後」
相川正道 (東海大・総合科学研)
- 3) 「細菌をどう見るべきか」 天児和暢 (福岡国際大)
- 4) 「ウイルス研究の過去, 現在, 未来」
新居志郎 (新見公立短大)

の講演があり, 今後の電顕を用いた微生物学研究に有意義の話題であった。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	本部補助金	119,000
	利 息	29
	合 計	119,029
支 出	通信連絡費	1,319
	会 議 費	31,710
	講 師 旅 費	46,000
	資料作成費	40,000
	合 計	119,029

15. 分析電子顕微鏡研究部会 (責任者: 砂子沢成人)

「活動概要」

平成11年9月16・17日, 工学院大学 (東京都新宿区) において第15回分析電子顕微鏡討論会を行った。第一日目は啓蒙的なプログラム構成とし, 分析電子顕微鏡法の基礎知識の向上を図った。また「21世紀に向けた新手法」について講演を行うとともに, 「分析電子顕微鏡の最新の応用」や「海外最新情報」について紹介した。第二日目はパネルディスカッション「マッピング, どちらが偉い? EDS マッピングとEELS マッピング」を行った。多くの参加者がディスカッションに加わり, 活発な討論を行い, 分析電子顕微鏡法を使ったマッピング法の特徴や違いを理解した。また, 一般講演

では最新の成果について講演や討論を行った。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会補助金	119,000
	参加費	617,000
	前年度繰越金	919
	合 計	736,919
支 出	通信連絡費	47,200
	印 刷 費	189,000
	会 場 費	80,000
	講師旅費謝金	332,000
	会 議 費	31,365
	人 件 費	49,000
	消 耗 品 費	7,902
	次年度繰越金	452
	合 計	736,919

16. 分析電子顕微鏡とニューマイクروسコープの医学生物試料への応用研究部会 (責任者: 雨宮次生)

「活動概要」

従来の分析電子顕微鏡と新しいイオン顕微鏡の医学生物学への応用を目指し, さらにエネルギー損失分光法と比較検討した。2回のシンポジウムを開き, 臨床, 基礎医学, 実験動物のみならず植物への応用を講演し活発な討論を行い, 広い応用性が確認された。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	学会本部補助金	119,000
	利 息	6
	合 計	119,006
支 出	通信連絡費	10,206
	講師旅費謝金	100,000
	人 件 費	4,000
	会 議 費	4,800
	合 計	119,006

17. 有機高分子材料研究部会 (責任者: 山延 健)

「活動概要」

平成11年12月10~11日の2日間, 群馬大学伊香保研修所において, 「高分子精密観察法」と題して, 高分子の微細構造観察法として注目を集め始めている電子分光結像法 (ESI) の応用と Deeply Etched Section (DES) 法についての講演と高分子材料の一般的な試料作製法等について討論した。

「会計報告」

科 目	項 目	決算(円)
収 入	本部補助金	119,000
	参加費	90,000
	利 息	78
	前年度繰越金	20,476
	合 計	229,554
支 出	通信連絡費	8,160
	印 刷 費	18,759
	講師旅費謝金	80,000
	人 件 費	30,000
	宿泊・懇親会費	91,900
	消 耗 品 費	735
	合 計	229,554

◇SCIENCE AND TECHNOLOGY OF
ADVANCED MATERIALS 発刊について —

日本材料工学連合では既存の材料系学会誌の枠組みを大に外した Science and Technology of Advanced Materials を発刊しました。分野・領域の抜本的改変・拡大を進め、世紀のマテリアル科学・技術のあるべき姿を永続的に提示することを目的としています。

問い合わせ先：日本材料工学連合事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学部マテリアル工学科 吉田 豊

TEL: 03-5841-7100 FAX: 03-5841-864

©2000年1巻1号～4号(2000年3月創刊)

関係学会個人年間購読料：6,000円(税・送料込)

(一般購読は41,000円)

購読申込先：〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

日本学会事務センター 事業部 STAM 1

TEL: 03-5814-5811

収支計算書

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

社団法人日本電子顕微鏡学会
(単位：円)

収入の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
基本財産収入			70,000	47,499	22,501
	基本財産利息収入		70,000	47,499	22,501
会費・入会金収入			30,760,000	29,758,050	1,001,950
	正会員会費収入		21,660,000	21,269,050	390,950
	賛助会員会費収入		9,000,000	8,400,000	600,000
	入会金収入		100,000	89,000	11,000
事業収入			47,420,000	54,932,168	△ 7,512,168
	学会誌購読料収入		3,550,000	12,031,717	△ 8,481,717
	学会誌論文掲載・別刷代收		850,000	4,567,560	△ 3,717,560
	学会誌広告料収入		4,100,000	3,763,991	336,009
	講演会等収入		38,300,000	33,601,900	4,698,100
	学術講演会・50周年記念事業		28,000,000	23,999,642	4,000,358
	シンポジウム		2,500,000	3,933,057	△ 1,433,057
	サマースクール		5,500,000	3,291,601	2,208,399
	電子顕微鏡大学		2,300,000	2,377,600	△ 77,600
	技術認定収入		620,000	967,000	△ 347,000
補助金収入			6,770,000	6,213,509	556,491
	刊行補助金収入		6,770,000	6,190,000	580,000
	文部省科研費		5,770,000	5,190,000	580,000
	内藤記念財団		1,000,000	1,000,000	0
	学術振興金収入		0	23,509	△ 23,509
寄付金収入			0	1,300,000	△ 1,300,000
	深井寄付金		0	1,000,000	△ 1,000,000
	50周年記念事業寄付金		0	300,000	△ 300,000
雑収入			350,000	314,262	35,738
	受取利息収入		200,000	81,665	118,335
	雑収入		150,000	232,597	△ 82,597
積立預金取崩収入			6,656,736	6,656,736	0
	50周年記念事業費積立預金取崩収入		4,661,736	4,661,736	0
	学術振興積立預金取崩収入		1,995,000	1,995,000	0
当期収入合計			92,026,736	99,222,224	△ 7,195,488
前期繰越収支差額			27,470,897	27,470,897	0
収入合計			119,497,633	126,693,121	△ 7,195,488

支出の部

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
JEM発行事業費			20,900,000	31,778,465	△ 10,878,465
	製作費		15,200,000	22,916,436	△ 7,716,436
	編集費		3,300,000	1,005,100	2,294,900
	編集委員会費		400,000	69,370	330,630
	送料		2,000,000	4,817,233	△ 2,817,233
	業務委託費		0	2,970,326	△ 2,970,326
和文誌発行事業費			8,500,000	9,761,382	△ 1,261,382
	製作費		5,200,000	6,495,781	△ 1,295,781
	編集費		1,450,000	1,458,899	△ 8,899
	編集委員会費		600,000	636,712	△ 36,712
	送料		1,250,000	1,169,990	80,010
講演会等事業費			47,800,000	39,302,822	8,497,178
	学術講演会・50周年記念事業		36,500,000	29,829,621	6,670,379
	シンポジウム		3,500,000	4,576,625	△ 1,076,625
	サマースクール		5,500,000	3,316,329	2,183,671
	電子顕微鏡大学		2,300,000	1,580,247	719,753
技術認定事業費			1,180,000	895,667	284,333
	認定委員会費		650,000	556,248	93,752
	認定事業費		530,000	339,419	190,581
支部活動・その他事業費			6,030,770	6,968,243	△ 937,473
	支部割当金		3,405,770	3,405,770	0
	学会賞(瀬藤賞)選考費		320,000	316,786	3,214
	論文賞選考費		110,000	124,594	△ 14,594
	技術功労賞選考費		110,000	30,829	79,171
	奨励賞選考費		0	1,026,169	△ 1,026,169
	研究部会補助金		1,995,000	1,995,000	0
	国際連合負担金		90,000	69,095	20,905
管理費			12,310,000	12,946,880	△ 636,880
	会議費		660,000	701,638	△ 41,638
	旅費・交通費		1,150,000	931,650	218,350
	通信費		800,000	943,027	△ 143,027
	印刷費		750,000	1,296,050	△ 546,050
	雑費		850,000	883,029	△ 33,029
	業務委託費		8,100,000	8,191,486	△ 91,486
特別事業費			30,000	30,000	0
	金属工学研連補助金		30,000	30,000	0
積立金預金支出			1,420,000	12,225,163	△ 10,805,163
	60周年記念事業費積立預金		400,000	400,000	0
	国際会議関係預金		0	0	0
	名簿刊行事業積立預金		1,000,000	1,000,000	0
	特定預金積立金		20,000	4,301	15,699
	学術振興積立預金		0	10,820,862	△ 10,820,862
租税公課			200,000	0	200,000
予備費			500,000	30,000	470,000
当期支出合計			98,870,770	113,938,622	△ 15,067,852
当期収支差額			△ 6,844,034	△ 14,716,398	7,872,364
次期繰越収支差額			20,626,863	12,754,499	7,872,364

※ 予備費は解剖学研究連絡委員会シンポジウム共催金の費用である。

※ 深井寄付金は奨励賞選考費に充当した。

正味財産増減計算書
(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
60周年記念事業費積立預金	401,444		
国際会議積立預金	2,857		
名簿刊行事業積立預金	1,000,000		
学術振興積立預金	8,825,862	10,230,163	
増加額合計	10,230,163		10,230,163
II. 減少の部			
2. 資産減少額			
当期収支差額	14,716,398		
50周年記念事業費積立預金	4,661,736	19,378,134	
減少額合計			19,378,134
当期正味財産減少額			△ 9,147,971
前期繰越正味財産額			55,457,160
期末正味財産合計額			46,309,189

貸借対照表
(平成12年3月31日現在)

(単位：円)

1. 資産の部		
大科目	中科目	金額
流動資産		
	現金	7,064
	預け金	2,129,830
	普通預金	149,056
	定期預金	20,123,710
	金銭信託	7,941,951
	貸付信託	3,850,000
	立替金	1,500,000
	前払金	1,048,100
	未収入金	2,195,046
流動資産合計		38,944,757
固定資産		
基本財産	貸付信託	10,000,000
その他の固定資産	定期預金	23,554,690
固定資産合計		33,554,690
資産合計		72,499,447
2. 負債の部		
大科目	中科目	金額
流動負債		
	未払金	17,233,258
	前受会費	7,957,000
	前受金	1,000,000
流動負債合計		26,190,258
負債合計		26,190,258
3. 正味財産の部		
	勘定科目	金額
正味財産		46,309,189
	うち基本金：	10,000,000
	当期正味財産減少額：	△ 9,147,971
負債及び正味財産合計		72,499,447

注 記 事 項

1. 重要な会計方針

資金の範囲について
流動資産及び流動負債である。

2. 基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	増加額	減少額	当期末残高
貸付信託	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 次期繰越収支差額は次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
流動資産	47,459,283	38,944,757
流動負債	19,988,386	26,190,258
差引	27,470,897	12,754,499

4. 正味財産の内訳は次のとおりである。

科目	当期末残高
基本金	10,000,000
60周年記念事業費積立預金	401,444
国際会議関係預金	4,600,000
国際会議積立預金	3,081,918
名簿刊行事業積立預金	3,000,000
学術振興積立預金	12,471,328
その他	12,754,499
正味財産合計	46,309,189

5. 会計処理の方法の変更

前事業年度まで Oxford University Press に支払っている購読料を JEM 発行事業費に計上、収支剰余の 50% を学会誌収入に計上する処理を行っていたが、当事業年度より収支の総額を明らかにするため、JEM に係る収支を総額で計上する処理に変更した。この変更による収支差額に与える影響はない。

なお、収入には購読料収入 11,517,817 円、論文掲載・別刷代収入 4,017,433 円、広告料収入 740,526 円が含まれている。

財 産 目 録
(平成12年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
＜I. 資産の部＞		38,944,757
流動資産		
現金	和文誌編集委員会	7,064
預け金	財団法人日本学会事務センター	2,129,830
普通預金	三井信託銀行本店営業部	139,056
〃	三菱信託銀行上野支店	10,000
定期預金	三井信託銀行本店営業部	20,123,710
金銭信託	三井信託銀行本店営業部	3,951,951
〃	三菱信託銀行上野支店	3,990,000
貸付信託	三井信託銀行本店営業部	3,850,000
立替金	第56回学術講演会	1,500,000
前払金	JEM発行事業費(編集費)	854,000
〃	管理費(通信費:2000年度会費請求書発送郵税)	153,000
〃	管理費(雑費:外為送金手数料)	41,100
未収入金	JEM:Oxford University Press 精算金*1	970,326
〃	和文誌35巻1号広告料収入	1,224,720
固定資産		33,554,690
基本財産		
貸付信託	三井信託銀行本店営業部	10,000,000
その他の固定資産		
定期預金	三井信託銀行本店営業部	10,071,328
〃	三菱信託銀行上野支店	10,000,000
〃	第一勧業銀行本郷支店	3,483,362
資 産 合 計		72,499,447

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
＜II. 負債の部＞		26,190,258
流動負債		
未払金	JEM会員購読料*2	13,328,510
〃	和文誌発行事業費 35巻1号製作費	2,517,998
〃	和文誌発行事業費 35巻1号送料	389,250
〃	奨励賞選考費	997,500
前受会費	平成 12年度正会員会費	6,013,500
〃	平成 12年度正会員入会金	10,000
〃	平成 12年度正会員(学生)会費	108,000
〃	平成 12年度賛助会員会費	1,740,000
〃	平成 13年度以降会費	85,500
前受金	刊行補助金(内藤記念財団)	1,000,000
負債合計		26,190,258
正味財産合計		46,309,189
負債及び正味財産合計		72,499,447

*1: 決算日(平成12年3月31日)の為替相場にて換算

*2: 平成12年4月6日に支払いを行っているため、実際の支払い額を計上

JEMの収支について

[1] OUPからの精算書のうち

(1) INCOMEの中のMembersに相当する金額=Ⓐ (学会からOUPへの支払額=学会が会員数分のJEM誌をOUPから買い取る)

(2) INCOMEの中のA以外の金額=Ⓑ

(3) ・Bのうち, (Subscriptions) + (Single & Back Issues) + (Secondary Rights) = Ⓑ① (購読料収入)

・Bのうち, offprints = Ⓑ② (別刷代收り)

・Bのうち, Advertising = Ⓑ③ (広告料収入)

$$\textcircled{B} = B1 + B2 + B3$$

(4) TOTAL EXPENDITUREに相当する金額=ⓧ

(5) ・TOTAL EXPENDITUREのうち, (Subtotal) + (Marketing) + (Overheads@25% of Income) = ⓧ① (制作費)

・TOTAL EXPENDITUREのうち, Distribution = ⓧ② (送料)

$$\textcircled{X} = X1 + X2$$

(6) Profit for Year = A + B - X

(7) Profit Share due to Society = Profit Retained by OUP = (1/2) (A + B - X)

[2] その他

(1) ・OUPへの200万円の支払い = Y① (業務委託費-その1)

・RE, EBへの支払い = Y② (編集費)

・Y③ = (編集委員会費)

$$\textcircled{Y} = Y1 + Y2 + Y3$$

(2) (科研費) + (内藤記念財団) = Ⓐ (刊行補助金収入)

[3] JEMの収入

(1) 収入 = (1/2) (A + B - X) + α

(2) 支出 = A + Y

[4] 収支差額

$$\textcircled{\text{収支差額}} = \text{収入} - \text{支出} = (1/2) (A + B - X) + \alpha - (A + Y)$$

$$= \alpha + (1/2)B - [(1/2)A + (1/2)X + Y]$$

$$= \alpha + B - [(1/2)A + (1/2)B + (1/2)X + Y]$$

$$= \alpha + B - [(1/2)A + (1/2)B - (1/2)X] - X - Y$$

↑
改めて
収入とみなす。

↑
改めて支出とみなす。

$$= \alpha + \frac{B1 + B2 + B3}{\text{↑}} - \frac{(1/2) (A + B - X)}{\text{↑}} - \frac{(X1 + X2)}{\text{↑}} - \frac{(Y1 + Y2 + Y3)}{\text{↑}}$$

↑
刊行補助金収入

↑
購読料収入

↑
別刷代收り

↑
広告料収入

↑
OUPの取り分
業務委託費(その2)
とみなす。

↑
製作費

↑
送料

↑
業務委託費(その1)

↑
編集費

↑
編集委員会費

Journal of Electron Microscopy : Volume 48
Profit and Loss Account for the year ended 31st December 1999

	<u>1998</u>		<u>1999</u>	
	<u>Volume 47</u>		<u>Volume 48</u>	
	No.	£	No.	£
<u>INCOME:</u>				
Subscriptions	506	64,150	506	66,666 = B1(購読料収入)
Members	2,597	81,156	2,516	77,178 = A
Single & Back Issues		1,706		2,579 = B1(購読料収入)
Offprints		5,244		24,158 = B2(別刷代収入)
Secondary Rights		37		15 = B1(購読料収入)
Advertising		<u>4,177</u>		<u>4,453 = B3(広告料収入)</u>
TOTAL INCOME		<u>156,470</u>		<u>175,049 = A+B</u> (B=B1+B2+B3)
<u>EXPENDITURE:</u>				
Production:				
Design		370		120
Copy - Editing		405		1,207
Illustrations		2,216		2,541
Typesetting		10,662		14,931
Paper		7,028		8,770
Printing and Binding		33,106		52,605
Electronic Publishing		462		302
Offprints		<u>4,477</u>		<u>8,183</u>
Sub-total		58,726		88,659 = X1(製作費)
Editorial (paid by Society)		0		0
Distribution		23,093		28,070 = X2(送料)
Marketing		8,462		3,083 = X1(製作費)
Overheads @ 25% of Income		<u>39,118</u>		<u>43,762 = X1(製作費)</u>
TOTAL EXPENDITURE		<u>129,399</u>		<u>163,574 = X = X1 + X2</u>
<u>Profit for Year</u>		<u>27,072</u>		<u>11,475 = A+B-X</u>
<u>Profit Share due to Society - 50%</u>		13,536		5,738 = 1/2(A+B-X)
<u>Advertising income due to Society</u>		<u>0</u>		<u>0</u>
<u>Total due to Society</u>		<u>13,536</u>		<u>5,738</u>
<u>Profit Retained by OUP - 50%</u>		<u>13,536</u>		<u>5,738 = 1/2(A+B-X)</u>

収 支 予 算 書
(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

社団法人日本電子顕微鏡学会

収入の部

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	11年度予算額	12年度予算額	差異
基本財産収入			70,000	50,000	△ 20,000
	基本財産利息収入		70,000	50,000	△ 20,000
会費・入会金収入			30,760,000	30,300,000	△ 460,000
	正会員会費収入		21,660,000	21,500,000	△ 160,000
	賛助会員会費収入		9,000,000	8,700,000	△ 300,000
	入会金収入		100,000	100,000	0
事業収入			47,420,000	41,650,000	△ 5,770,000
	学会誌購読料収入		3,550,000	12,550,000	9,000,000
		JEM	3,000,000	12,000,000	9,000,000
		和文誌	550,000	550,000	0
	学会誌論文掲載・別刷代収入		850,000	2,000,000	1,150,000
		JEM	550,000	1,500,000	950,000
		和文誌	300,000	500,000	200,000
	学会誌広告料収入		4,100,000	3,800,000	△ 300,000
		JEM	1,100,000	800,000	△ 300,000
		和文誌	3,000,000	3,000,000	0
	講演会等収入		38,300,000	22,650,000	△ 15,650,000
		学術講演会*	28,000,000	13,900,000	△ 14,100,000
		シンポジウム	2,500,000	3,300,000	800,000
		サマースクール	5,500,000	3,150,000	△ 2,350,000
		電子顕微鏡大学	2,300,000	2,300,000	0
	技術認定収入		620,000	650,000	30,000
補助金収入			6,770,000	8,500,000	1,730,000
	刊行補助金収入		6,770,000	8,500,000	1,730,000
		科学研究費補助金	5,770,000	7,500,000	1,730,000
		内藤記念刊行助成金	1,000,000	1,000,000	0
	学術振興金収入		0	0	0
雑収入			350,000	400,000	50,000
	受取利息収入		200,000	100,000	△ 100,000
	雑収入		150,000	300,000	150,000
積立預金取崩収入			6,656,736	11,589,000	4,932,264
	50周年記念事業費積立預金取崩収入		4,661,736	0	△ 4,661,736
	学術振興積立預金取崩収入		1,995,000	11,589,000	9,594,000
当期収入合計			92,026,736	92,489,000	462,264
前期繰越収支差額			27,470,897	12,754,499	△ 14,716,398
収入合計			119,497,633	105,243,499	△ 14,254,134

支出の部

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	11年度予算額	12年度予算額	差異
JEM発行事業費			20,900,000	29,600,000	8,700,000
	製作費		15,200,000	20,000,000	4,800,000
	編集費		3,300,000	1,200,000	△ 2,100,000
	編集委員会費		400,000	400,000	0
	送料		2,000,000	4,500,000	2,500,000
	業務委託費		0	3,500,000	3,500,000
和文誌発行事業費			8,500,000	8,950,000	450,000
	製作費		5,200,000	5,600,000	400,000
	編集費		1,450,000	1,450,000	0
	編集委員会費		600,000	600,000	0
	送料		1,250,000	1,300,000	50,000
講演会等事業費			47,800,000	28,950,000	△ 20,850,000
	学術講演会*		36,500,000	17,400,000	△ 19,100,000
	シンポジウム		3,500,000	4,100,000	600,000
	サマースクール		5,500,000	3,150,000	△ 2,350,000
	電子顕微鏡大学		2,300,000	2,300,000	0
技術認定事業費			1,180,000	1,180,000	0
	認定委員会費		650,000	650,000	0
	認定事業費		530,000	530,000	0
支部活動・その他事業費			6,030,770	5,499,242	△ 531,528
	支部割当金		3,405,770	3,270,242	△ 135,528
	学会賞(瀬藤賞)選考費		320,000	320,000	0
	論文賞選考費		110,000	110,000	0
	技術功労賞選考費		110,000	70,000	△ 40,000
	奨励賞選考費		0	70,000	70,000
	研究部会補助金		1,995,000	1,589,000	△ 406,000
	国際連合負担金		90,000	70,000	△ 20,000
管理費			12,310,000	12,960,000	650,000
	会議費		660,000	810,000	150,000
	旅費・交通費		1,150,000	1,150,000	0
	通信費		800,000	800,000	0
	印刷費		750,000	900,000	150,000
	選挙管理費		0	300,000	300,000
	雑費		850,000	900,000	50,000
	業務委託費		8,100,000	8,100,000	0
特別事業費			30,000	30,000	0
	金属工学研連補助金		30,000	0	△ 30,000
	解剖学研連補助金		0	30,000	30,000
積立金預金支出			1,420,000	1,570,000	150,000
	60周年記念事業費積立預金		400,000	400,000	0
	国際会議関係預金		0	0	0
	名簿刊行事業積立預金		1,000,000	1,000,000	0
	特定預金積立金		20,000	20,000	0
	学術振興積立預金		0	0	0
	選挙管理費積立預金		0	150,000	150,000
租税公課			200,000	200,000	0
雑損失			0	0	0
予備費			500,000	500,000	0
当期支出合計			98,870,770	87,439,242	△ 11,431,528
当期収支差額			△ 6,844,034	5,049,758	11,893,792
次期繰越収支差額			20,626,863	17,804,257	△ 2,822,606

*：平成11年度予算には50周年記念事業を含む